

杉並区まちづくり基本方針骨子案への意見（自由意見のみ）

1	<p>骨子案の内容についてではなく、そもそもの話となりまして恐縮ですが、このアンケート、そして区民から意見を募集するあり方自体が不親切に感じました。このアンケートの存在、どれだけの杉並区民が認識できているのでしょうか。まちづくりを区の主役である区民と共に進めていく為には、まず何より、骨子案と当アンケートの存在を区民にしっかり周知徹底する必要があるのではないのでしょうか？私は、郵便受けに入っていたある区議会議員の方の活動レポートを見てこのアンケートのことを知りました。しかも、今後10年のプランを、この2週間強程の期間でアンケート実施というのは早急かつ短期間すぎませんか？区民に意見を聞くことは絶対必要ですが、このようなアンケートの取り方、そもそもの周知の仕方では、とりあえずアンケートを取ったという「形」を取っておこう、とりあえずそういうプロセスを踏んでおこうという印象が拭えません。本当に「区民の声を聴こう」という心があれば、このような展開の仕方にならないはずです。</p> <p>区民のいる所にもっと近づいてください。区民と同じ、フラットな姿勢でいてください。</p> <p>隣の武蔵野市では、市民参加の行政が随分前から行われています。同市の市報や市民へのアンケートは全家庭に配布されており、タイミング、集計のあり方に取りこぼしが感じられませんでした。また、季刊誌では、市（行政）の顔、市民の顔がよく見え、市と市民がほんとうにフラットな関係性で、市のくらしや経済、文化が育まれているのがよく分かります。市が市民に対して、全体としてやさしいのです。心が感じられます。残念ながら、杉並区ではそれが感じられません。行政に距離を感じます。やさしさを感じません。すぐ隣の街で、行政と人々が同じ目線で、フラットな立ち位置で関わり合っている姿があるのですから、ぜひ参考に、取り入れられていってはいかがでしょうか？日頃感じていたことが、今回のアンケートのあり方でよりさらに実感が強くなり、書かせて頂きました。</p> <p>これからの杉並区のまちづくりにとても大切なアンケートのはずで、しっかり回答させて頂きたかっただけに、今回のようなあり方は非常に残念です。</p> <p>尚、「都市計画道路補助133号線の計画」は断固反対です。</p>
2	<p>西荻エリアの再開発について、バリアフリーに関する取り組みは必要だと思っています。駅前から女子大方面での混雑、北側バス通り商店街の中途半端</p>

		<p>なアーケードなど。むしろ南側は駅から出てしまえばあまり段差がなく敷居の低い店が多いので利用しやすいような気がします。</p> <p>ゼロカーボンに関する取り組み強化はぜひ推進して欲しいところ。緑地帯の保護、河川及び遊歩道の雰囲気をよくして、散歩コースとしてイメージアップしたい。小さな川ですが、水力発電など区内でのエコエネルギー供給も試してみたいと思います。</p>
3		<p>杉並の特徴は川が3本流れていること。それを邪魔者とするのではなくもっと活用すべき。悲しいのは妙正寺川。井荻トンネルから出る地下水の利用を考えるべきと思う。</p> <p>善福寺川も源流域をもっと大事にすべき。雨のたびに治水を考え地下に雨水貯留を考えるのではなく、上流域に降った雨を戸建ての敷地から流出させない、集合住宅の地基地から流出させない地域ダムのみちづくりを進めるべき。公共だけがやるのには限界がある。</p> <p>また、遅野井川を地域のオアシスと位置づけ、暗渠を開渠すべき。よくぞ遅野井川親水施設を作ったと思う。元の流れを復元すべきと考える。</p> <p>自転車のまちづくりにはしっかりと自転車の走行教育が必要。子どもを保育園に通わせるようになったパパママへ自転車教育が必要。ソフト部分にも力を入れてほしい。</p>
4		<p>防災面について、都のグランドデザインにもあるような防災面を確保しつつ木造住宅や路地を活かした杉並らしい賑わいのある景観になるような、なんらかの指針があったら良いと思う。また、道路拡幅や街区公園整備などハード面の対策はもちろんだが、地域の防災意識・共助が高まるようなソフト面での事前復興の取り組みも進んでいって欲しい。これについては、特に若者や現役世代など、共助を支える世代でありながら、地域に無関心な世代への対策が必要だと思う。</p> <p>また、全体的に車道・歩道が狭く、難しいかもしれないが、自転車専用レーンなどの検討も進めてほしい。自転車で車道を走る際、自動車との接触が怖く感じられ、自動車側の際は自転車を避けるために渋滞やバスの遅延などを引き起こす原因にもなりうると感じる。</p>
5		<p>東京都、特に23区は住民の転入・転出が激しい地域ではないでしょうか。</p> <p>そういう大きな意味での地域特性や顕著な事情のなかであって、住み慣れた人にも、新しく住まう人にも、今は住みづらさを抱えている人にも、住み続けたい、或いはやむを得ない事情により杉並区を離れることになっても、とても名残り惜しくなるような「ステキなまち」だと思ってもらえるこの区であってほしいし、みんなでそうしていけるといいなあと思い、そのために、私は杉並区に住み始めて1年も経たない新住民ですが、であるならば、普遍的・根源的に大切だと感じることを指摘すれば良いのではないかと考えまし</p>

	<p>た。</p> <p>まず、何より「都市計画道路」、「駅前再開発」、「中高層の都市型住宅」という名の中高層ビルや大規模マンション、「防犯カメラ」という名の監視カメラは「不要」だと思います。科学的にも法的にも根拠に乏しいのではないのでしょうか。</p> <p>そして、何より『公営住宅(都営・区営・区民)住宅』の拡充や行政側からの『出向く福祉・セツルメント』が『必要不可欠』です。</p> <p>災害や軽微な犯罪があっても、『みんなで何とか暮らしてゆける寛容性・柔軟性・弾力性のある杉並区』にしていきたいと思います。</p> <p>どうぞよろしくお願いします。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・杉並区環境調査の継続的な実施(5年毎実施。次回は来年度からのはず)と更なる拡充(調査不十分な分類群やエリアがあります)と、それを緑地管理などの施策に活用して下さい(環境課が実施していますが、課が違うせいか、みどり公園課は公園管理に環境調査の結果を反映させていない)。</li> <li>・井草や高円寺、阿佐ヶ谷北部など、みどりの拠点や水とみどりの空間軸から大きく外れたエリアがあるため北部から北東部に広くあり、区の自然環境保護政策から取り残されそうな点がとても心配です。区内全域をカバーし且つより細やかな緑地・生態系保全政策が必要かと思います。また区内全土で建替に伴う土地の分割・狭小建売化により庭が消失している事態が頻発しており、区の緑地面積減少の大きな一因となっているため、条例等で歯止めを掛けて欲しい(用途地域などで建ぺい率の規制はあるが、コンクリート舗装された駐車スペースが空地扱いだったりなど、緑地維持の役割を果たせていないように思います)。</li> <li>・公園や緑地管理を行う課に、樹木管理や生態系の専門知識を持つ職員を登用して下さい。</li> <li>・杉並区の生態系保全するための拠点として、郷土博物館に自然史部門(標本の蒐集、保存が可能な設備があるとベスト)の設置・拡充を希望します。また、各町域レベル(最低限各地域レベル)で動植物保全のための緑地を保持し、地域の動植物の生息地の確保と系統保存に務めてください。</li> <li>・児童館の全館廃止の撤回と廃止した館の復活させた上で、乳児・児童など各年代に応じたスペース(施設・公園両方)を更に充実させて下さい。また少数の職員で多人数を見なくてはいけない事態を解消し、適切な数の職員を安定した雇用条件で従事させて下さい。</li> <li>・商店街の魅力を損ない兼ねず反対の声も根強い、西荻窪と高円寺の駅前通りの道路拡張の中止を希望します。</li> </ul>
7	<p>骨子案については概ね同意するものの、具体性が乏しい施策もあるため、どのような施策をどのようなスパンで実施していくのか、どのようなフェイズ</p>

	<p>に分かれてそれが実施されるのかのロードマップが必要になると思う。        例えば毎週日曜は高円寺通りと中杉通りの車の乗り入れを禁止し、歩行者天国化する・道路上に地域事業者のポップアップストアを展開するなど、排ガス抑止のアピールをしつつ地域おこしを行う等、ゼロカーボン施策に興味に向かない層へのフック的施策が重要になってくると思われる</p>
8	<p>西荻窪在住で不動産関係の業務を生業としています。        まちづくりには思い切ったビジョンが必要で、できそうなことから考えるのではなく        どのような未来を作りたいまたは、作るべきなのかという観点から、目指すまちの姿を描いてみることも大切なのではないかと思います。        例えば、2050年までにゼロカーボンを目指すというのは、まちのハード面を策定するうえで非常に重要なビックビジョンになると賛同します。        今は都市計画道路事業計画推進が杉並区の複数のエリアで問題視されていますが、この都市計画道路の施策一つとっても、計画を遂行する場合としない場合をカーボン数値で試算して比較し策定判断基準の一つとし、市民と情報を共有し共に検討する。        区内すべてのエリアで今ある都市計画を実行した場合と、しなかった場合の費用やCO2の比較があれば、どちらの道が2050年までの目標達成にどのように影響するのかを共通の軸で考えてみるということができると思うからです。</p> <p>◆道路整備        仮に今後道路整備などをするのであれば、グリーンインフラ整備や車を排除するまちなど、先進的な取り組みをすると良いと思う。電柱の地中化（個人的には朝焼けや夕焼けを背景に見る電柱や電線のシルエットは情緒的で好きですが…）や公共インフラとして利用できる自動運転車路線のようなものを推進するためにセンサーを道路に埋めるなど、最新のテクノロジーの実験都市としての機能を持たせることも出来るのではないのでしょうか。        特に阿佐ヶ谷や高円寺など、直線的な道路には活用できるのではないかと考えます。</p> <p>◆ウォーカブル推進地区を制定        杉並区はウォーカブル推進都市として賛同しているので、【ウォーカブルな街づくり】を基軸に、まちの構成を考えてみるのは如何でしょうか。        まずは今回区分けされたエリアごとに一つないし複数のウォーカブル区域や滞在快適性等向上区域を指定し、それを軸にまちづくりを進める。        エリアを定め区域に指定することにより【まちなか再生推進事業】対象事業</p>

として、様々な社会実験やPRプロモーション、セミナーやワークショップ開催することができるようになります。

そのような取り組みを通して市民のまちづくりへの関心と理解を高め、行政と市民が連帯感を以てまちづくりを進めることができるようになると確信します。

ハード面の社会実験の一つとして、

【ウォークابل区域】を推進することでできる社会実験の例として、

・車を街の中心部に入れない様に、まちの周辺道路で迂回できる道路ネットワークを組み、まちの中心地はトラムの様に緩やかに利用できる公共交通機関と自転車や歩行する人のためのエリアとする。

トラムは通常路線を引いた大規模な工事が必要になるが、それを自動運転バスのようなものを利用することで、大きな予算を使うことなくまちなかのインフラを整えてみる。

・ウォークابل区域では、既存の建物を利用して店舗や公共スペースとして再利用するので、SDGS 志向をもってまちを変えていくきっかけになる。

・杉並区内にある代表的な公園や河川にかかるエリアは都市公園の新たな利用や水辺リングのなど【都市公園法の特例】を活用して、杉並区の特性を最大限に高めることができる。

このように国交省も推進する【ウォークابلなまちづくり】を基軸とすることで、脱炭素化やSDGS が当然の流れで推進されていくのではないかと考えます。

#### ◆不動産価値の向上

杉並区内に横断する3本の鉄道と2本の河川に対して、縦線の公共インフラを整備することで

不動産の価値が向上すると考えています。

回遊性の高いまちと滞在時間の長い場所における商業発展の関係性はすでに国内各地でも実証されています。

ヨーロッパやアメリカの各地で車をまちの中心部から排除しトラムなどを利用して歩行で移動できるまちへ変化させたことで、自転車や歩行で移動できるエリアを広げ、駅から1km以上のエリアでも駅周辺と同じような賑わいを作ることができることで、不動産の資産価値が向上している結果が出ています。

現在はコロナの影響で中止となっていますが、西荻窪で歩行者天国をつくり開催される【朝市】は常にたくさんの人で賑わい、他エリアからも人が訪れる名所となっています。

社会実験として、【ほこみち】（歩行者のための道）をつくりどのような変

		<p>化がみられるか試してみたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿佐ヶ谷北東エリア 駅～早稲田通り</li> <li>・西荻窪エリア 駅を中心に東西南北へトラム型自動運転バスを導入してみる</li> </ul> <p>駅～青梅街道、 駅～五日市街道、 駅～東京女子大 駅～環八</p> <p>以上、まとまりのない意見ですが、このようなことは市民・民間だけでは絶対に実現することができません。ぜひ官民が一緒に、【未来の理想とするまちづくり】に取り組んでいる杉並区を作っていくたいと切に願っています。</p>
9		<p>まちづくりについては官民学の連携を推進し、エリアプラットフォームを作った上で、住民の合意を形成した上で行うべきであると考えます</p>
10		<p>今あるものを活かした街づくりを求めます。住民の意見をきちんと聞く、取り入れる姿勢が感じられません。</p>
11		<p>区長の公約ばかりを優先せず、確実に起きる災害に備えたまちづくりについて考えていただきたい。また、未来の子供達が財政不足で苦しむ事が無いよう基金の取り崩しには慎重になっていただきたい。</p> <p>道の狭さについて、西荻窪あたりは歩道でも車道でも自転車で走る時には非常に怖い思いをします。</p> <p>また、西荻窪に限らず、緊急時に救急車が入って行くのに苦労している道幅の場所もあります。介護職として送迎車両に乗り込む事が有りますが、何度も切り替えしてようやく入っていけるような道路もたくさん有ります。災害が起きた時に、消防車が入っていけない道がたくさん有るということでもあり、とても心配です。</p>
12		<p>多心型のまちづくりについては賛成です。ただ、そのためには、用地の確保が必要となってきます。戦略的・計画的と書かれていますが 具体的にはどのようなことなのでしょう?都市部で民有地の売却の大きな理由の一つに相続があります。相続税の納入は死亡から10か月後なので自分の所有する土地が行政にとって価値のあるものなのかを事前にオープンにすることは用地売却の時に検討することが出来ます。ご検討をお願いします。</p> <p>エリアマネジメントによるまちの活性化についても大賛成です。現状の道路拡幅、都市開発においては土地の所有者だけでなく色々なステークホルダーが意見交換や情報交換を行う場所がなく地域分断を生んでしまいます。出来上がったまちも愛着が持てず多様な魅力と交流を持つことが出来ません。道路方針についてですが 行政としては、まずよりいっそうの情報の公開をお願いします。そして、よ</p>

り一層の対話をお願いしたい。道路というネットワークが重要でその中で用地買収、まちの更新は理解できますが、そこには私たちの生活や思い出など様々な思いをあることを行政側は理解して欲しく住民と一緒に考えて考える(と思わせる)行政であって欲しい。結果は一緒でも住民の思いは違い、新しいまちにも愛着をもっていけると信じています。

住民は賛成・反対の二項対立ではなくなぜ良いのか、なぜダメなのかを真摯に対話して妥協点を見つける

行政は、その話し合いを真摯に受け止め計画を立案する

議会は、行政案が住民の意見に対して真摯に対応しているのかを議会で審議して予算承認をする。

民主主義の基本を杉並区でやっていきたい。これは、行政だけではできることではなく、住民、行政、議会(議員)が真摯に向き合っていく覚悟をしないといけないと思います。(この意見収集が行政の覚悟であることを信じています。住民も頑張っていきます。)

自転車と歩行者の分離について

大賛成です。現在の道路にラインを引いただけでは、自転車は歩行者からも車からも邪魔者扱い。自転車は便利な乗り物なので歩行者と自転車の分離は是非お願いします。そこで、一つ提案です。西武新宿線の高架化で線路の下が空きますが、そこを自転車道路にできませんか?(中央線はある程度自転車道路として機能しています)そうすると東西に安全に移動できる道路が整備されます。南北方向には、環状線を整備すると自転車での移動が大きく変わります。夢としては西武新宿線の高架部と地下化部の地上部分を自転車道になると西東京 練馬 杉並 中野と大きな自転車道が出来上がります。今回の構想の中にいれられませんか?

自転車だけではありませんが、安全な歩行空間の中に バルセロナのスーパーブロックのような恒久的に自動車の禁止ブロックがつかれないでしょうか?道路部分を区民に開放して緑地化する。ウォークアブルスペースを設置して歩くのが楽しい空間をつくれます。如何でしょうか?

農福連携について

都市における農地についてですが、これは環境施策なのか産業施策なのかははっきりしていません。同じように、農福連携もはっきりしていません。福祉施設での体験なのか?農業労働力として体験をつんでもらうためなのか?私は、いわゆる地主の家に生まれて現在も区内に在住しています。バブル～崩壊直後は農地(生産緑地ではなくても)を持っていると「地主の税金逃れ」と陰口をたたかれました。農業収入だけでは都市部では暮らしてゆくことが難しいのが現状です。行政の言う農地の保全是、緑地、防災時の空地、農業体験、食育などが目的であり産業振興策とは思えません。農地や屋敷林は、都

	<p>市に残った大きな財産であることは私たちも認識していますが過去を考えると素直にやっと理解してくれたかとは喜べません。特に農福連携については具体的に何を狙っているのか?今後どの程度まで増やしてゆくのか?が分かりません。揺り戻しで「地主の税金逃れ」とならないように制度の目的、計画などの具体的な公開をお願いします。</p> <p>井草地区について</p> <p>住宅地については、敷地の細分化の抑制 現在の土地利用の維持 とありますが、具体的にどのような策を講じるのでしょうか?西武線の高架化、駅前の再開発といった開発は、周辺部への地価に反映され、固定資産税、相続税の増加要因となり土地売却の際に細分化、大規模な土地のデベロッパーへの売却の要因となります。大規模開発は、区の規制がかけやすいですが、100坪以下の土地については規制が難しくどのような対策が可能なのでしょうか?</p> <p>西荻地区について</p> <p>補助 132 号線については、住民合意形成をどのように行って行くのが最大の問題で前述したようなことが行われることを切に願います。132 号線は西荻窪の商店街の真ん中の道路なので、再開発に伴い地上部分に店舗のないビルが多く建設されると商店街として機能しなくなる。また、建てかえにより家賃の高騰(必ずおきます)により個人商店が撤退、結果として西荻窪のまちの魅力がなくなることを懸念します。行政は直接は関われないと思いますが、産業振興センターなどと地域に対して問題提起、民間による移転商店業者への支援が必要になる。また、道路建設が長期にわたる間、道路予定地が空地として商店街に点在しているのは魅力が損なわれるので予定地の空地の民間や NPO などへの貸し出し(地域振興に寄与する目的)をして欲しい。道路法上は難しいことは理解しているが法律の隙間を見つけて欲しい。</p> <p>五日市街道沿いの農地や屋敷地については、井草地区と同様どのような具体的な策があるのかを明らかにして欲しい。</p> <p>善福寺川の親水空間について、132 号線に伴い関根橋の架け替えが行われる。その際に橋の兩岸の道路拡幅部分を広くして(その分を区が購入して)橋詰めとして公園を整備できないか?関根橋の近くには、LIFE ストアがあり水辺の賑わいをつくれると考えられます。</p>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで進めてきたまちづくり案、特に道路計画や再開発計画はいったん白紙に戻し、地域住民の声を十分に聴いて再検討する。</li> <li>特に半世紀も前の無駄な道路計画は都や国に対しても廃止を訴えて断念して欲しい。</li> <li>・持続可能な社会は身近な緑が多い町。</li> </ul>



	<p>自家用車に頼らず暮らせる町、自転車や徒歩で町歩きを楽しめる杉並区を目指して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り区立施設は立て替えではなく、区民の財産は修繕して長く使って欲しい。</li> </ul> <p>解体による多量のゴミ排出、アスベストによる健康被害もあり、限られた資源を有効に使い、環境に負荷をかけ過ぎない町づくりを目指して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西武新宿線の立体交差事業は地下化で行う。</li> </ul> <p>地上の立体交差は美観をそこなうだけでなく、騒音や日当たりなど地域住民への悪影響が大きい。</p> <p>鉄道を地下化することで地上部分を有効活用して、緑化や広場化で豊かな街並みをつくって欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央線の駅はそれぞれ個性的な街並みが広がっていて、杉並の文化の象徴でもある。</li> </ul> <p>大きな道路と高いビルという同じ顔を持った街にしてしまっはもったいない。</p> <p>各街の個性を生かし、チェーン店ではなく、小商いの店が商売を続けられる街づくりを目指して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外環道本線、外環その2、青梅街道外環インターチェンジなどは国や都の方針に従うのではなく、杉並区として地域区民の意見を十分に聞き、中止を視野に入れて国や都と交渉すべき。</li> </ul>
14	<p>まちづくり基本方針骨子案について</p> <p>「杉並区まちづくり基本方針（杉並区都市計画マスタープラン）」の改定に向けた「骨子案」を短期間でまとめた区長をはじめとする関係者に敬意を表したいと思います。その上でいくつかの要望と質問事項などを以下に記します。</p> <p>1 ゼロカーボンシティに関して</p> <p>1.1 自動車用のレーンを減らして自転車専用レーンに</p> <p>? 大阪の梅田? では車優中心の街づくりから歩行者、自転車優先の街づくりへ、その様な計画を進めているそうです。</p> <p>? まづ、中杉道路で試行してみるのはいかがでしょうか。</p> <p>阿佐ヶ谷駅北東地域の開発と絡め駅周辺の活性化も図れるのではないでしょ</p>

	<p>うか。</p> <p>? その後幹線道路以外にも広げてゆきたいですね。</p> <p>2車線の道路を一方通行にして自転車用車線を作るなどの方策が考えられます。</p> <p>1.2 CO2 排出量の削減</p> <p>個人でも出来る事、区でも出来る事から他の自治体に先駆けて始めましょう。</p> <p>1.2.1 石油などの化石エネルギーの使用を削減する</p> <p>? 省エネ、持続可能なエネルギーへの転換</p> <p>歩行や自転車利用（人力は植物由来の持続可能なエネルギー）、太陽光発電、バイオマス、電気自動車、バス、等</p> <p>1.2.2 資源の有効活用（CO2 に戻さない）</p> <p>? 分別を細かく</p> <p>リサイクル、リユース</p> <p>? 大事に長く使う</p> <p>ゴミを減らす</p> <p>2 阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりに関して</p> <p>2.1 計画の内容（線表、詳細図面、予算、等々）</p> <p>? 計画の詳細が分かる資料は公表されていますか</p> <p>すでに工事が始まっているようですが</p> <p>大木が大量に切り倒されているようで心配です。</p> <p>2.2 中杉通り沿道地区</p> <p>? 駅周辺の景観について十分に検討していただきたいと思います。</p> <p>まちの顔として阿佐ヶ谷らしい駅前に来ると良いのですが。これが最後のチャンスかもしれません。</p> <p>? 文化施設を間借りでも良いので設置できませんか</p> <p>阿佐ヶ谷は文化のまちです、その顔になる施設があると良いのですが。</p> <p>劇場、コンサート会場、展示会場、会議場、等々に使える多目的ホールが望ましいかと思います。困難とは思いますが検討していただけますでしょうか。</p> <p>—以上—</p> <p>、簡単ですが勝手な要望を述べさせていただきました。</p> <p>ご検討宜しくお願い致します。</p> <p>2022年10月17日</p> <p>荻窪在住 ×××</p> <p>××××××××××××××</p>
--	--

15		<p>ムダな道路再開発は、やめてほしい。 商店街を大切にしてください。 西荻も高円寺も、小さな店達が魅力です。</p>
16		<p>1. 基本コンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の施策の反省を踏まえた方針</li> <li>・外部環境の変化を見据えた先取り方針</li> <li>・成長から充実の時代に即した方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 東京一極集中の緩和（リスク分散、豊かな生活）</li> </ul> </li> <li>・実行が確実な方針</li> </ul> <p>2. 全体課題</p> <p>①建前（当たり前）、言葉遊びとなっている。具体的イメージがわからない。実行は何か？実行が困難ではなからうか。（過去同様）</p> <p>②「忘れ物探し」・・・総合的俯瞰が無く子細な話で、脈絡が無い。主要な課題は、横糸（例えば「高齢者対策」「教育改革」の見方でフォローし、漏れが無いように。</p> <p>Ex. 教育の充実（考える力、人間性）</p> <p>Ex. インフラの老朽化／空地・緑地の南北格差</p> <p>Ex. 道路通行支障（毀損、樹木張出、電線）・・・問題はバリアフリーだけでない</p> <p>Ex. 高齢者等外出サポート（街中トイレ、赤い椅子等）</p> <p>③「ゼロカーボンシティ」そのものは是。しかし、これを中核に据えるのは片落ち。違和感がある。排出問題は殆どが国家的課題であり、区では消費者</p> <p>意識ぐらいか？また、「みどり・緑地」の機能は温暖化だけではない。他に、教育、成育、癒し、防災等多くの大きな機能がある。その他、社会生活に</p> <p>欠かせない課題は他にも多くある。</p> <p>3. 個別課題</p> <p>① 道路：「私道」30数%ある。拡幅、損傷、駐車等区は口出しできないと言う。対処方法を。所有者ではなく、道路機能でみる、とか。</p> <p>② 交通：交通ルール等、学校教育で徹底。また、歩道、路側帯、保護柵等の在り方を。</p> <p>③ ユニバーサル：「バリアフリー」だけではない。</p>

		<p>Ex.道路の穴ぼこ／障害者等への通行支援／路駐車・自転車</p> <p>④ 防災：空地（駐車場、農地、庭等）の維持保全〔固定資産税の減免〕／区立施設の地域格</p> <p>差の解消／「救援所のデジタル化」は当然。何か意味があるのか？</p> <p>⑤みどり：「緑地」でなければならない。植栽など「みどりのネットワーク」では不十分／「屋敷林の保全」とあるが、矛盾がある。既に区自身で潰しつつある。</p> <p>⑥景観：「屋敷林や農のある風景」とあるが、現在潰し始めている。逆行している。／欧州のように各家に花を（プランター等）</p> <p>⑦ゼロカーボン：「民有地の緑化」とあるが、屋敷林を潰したり建て替えて減少し逆行にある。</p> <p>⑧西荻地域：「自転車・・・マナー向上」とあるが、何故この地域だけ？全区的問題。</p> <p>⑨荻窪地域：何はともあれ「JRの高架化」である。／南北連絡通路</p> <p>⑩阿佐谷地域：何はともあれ狭隘道路（I字、L字、T字路）解消である。／公園がほとんどない／「にぎわい形成」とあるが、今以上必要ない。（“みどり豊かな住まいのみやこ” 閑静、ゆったり）少子化、人口流出の時代。</p> <p>⑪高円寺：駅北口自動車入路</p>
17		<p>高円寺や西荻窪の道路拡張は必要ないと思います。こじんまりした商店街がたくさんあるほうが、買い物も便利で地域のつながりもあり、住みやすいです。先日、西荻窪の商店街を散策しましたが、チェーン店ばかりでなくオリジナリティあふれるお店がたくさん並んでいてとても楽しかったです。この街並みを維持してほしいです。</p>
18		<p>都市計画道路のプランは大日本帝国憲法下で策定されたもので現代に有効とするのは到底無理がある。道路拡幅計画はすべて白紙とするべき。昔の話ではなく、気候変動や多様性といった、現代から未来の課題に合わせた町づくりを希望します。</p> <p>かつて高円寺について××××氏が、「安い賃料で若者が挑戦できるから新しい文化が生まれる、行政が各地でやろうとしている「再開発」とはそれと逆行するもの」という主旨の発言をされましたが、そのとおりだと思います。ましてやディベロッパー主導の開発などもってのほか。再開発により賃料が上がれば大手チェーンばかりの個性のないつまらない町になり、今の杉並に魅力を感じている住人は離れていくでしょう。納税者である住民の意見を広く聴いて形にしてください。</p> <p>また、都市マスタープランには直接載っていませんが、児童館などの施設の</p>

		<p>廃止についても、子どもや施設利用者の居場所、利便性を奪うもので、住民の希望に沿っていないことは明らか。今からでも見直せるものは見直しを。加えて小中学校の給食費無料化を杉並区でも進めて下さい。子どもたちが安心してのびのびと育てる杉並区であってほしい。都市マスタープランもそういった視点を持って策定して下さい。</p>
19		<p>丁寧に骨子案を練り直して下さり、さらに区民から意見を募って下さり、ありがとうございます。</p> <p>西荻周辺について、現在の狭い道路でも車両の通行が多く、スピードを出す車が多いです。整備後は歩行者と自転車が通行しやすい道路になってほしいです。特に自転車は、杉並区だけの問題ではないと思いますが、歩行者からも自動車からも疎まれているように感じます。車道に単に自転車用通路マークを描くだけではなく、本当に走りやすい自転車道を整備してほしいです。個性的な西荻を他の街と同じようなタワーマンションやチェーン店で溢れる街にしてほしくないです。西荻窪はアンティークの街としても知られています。今回の整備で安易に古いものを取り壊すのではなく、古いものを活かす方向で整備を進めてほしいです。</p> <p>現在の都市計画道路補助 132 号線(青梅街道~神明通り)の幅が広がることは反対です。都市計画道路補助 132 号線(青梅街道~神明通り)の東西が分断されることは嫌です。</p> <p>神明通りの交通量も多いです。朝の通勤時間帯は歩行者も自転車も多く、危険です。</p> <p>当然のことですが、業者の選定には公平な入札が行われることを希望します。</p> <p>岸本区長に期待しています。以前はこうやって一区民が意見を出すなんて考えられませんでした。真剣に考える機会と、意見を出す機会を下さり、ありがとうございます。</p>
20		<p>① 骨子案への意見募集の仕方について</p> <p>今回、10/1 付の区報で、骨子案への意見募集がなされたことは画期的なことだと思います。私は、7/15 におこなわれた第 200 回都市計画審議会を傍聴しました。区長になったばかりの岸本聡子さんが杉並区のゼロカーボンシティ宣言、環境基本計画の中に掲げている、2050 年までに 2000 年比で CO2 を半分に減らすという目標を達成するために、これまでのまちづくり計画を見直す、杉並区の都市計画にゼロカーボンを出発点として、一つのゴールとして位置付ける、という意見表明をおこなったことを感動を持って聞きました。その後、骨子案をお披露目するオープンハウスの延期が発表されましたが、今回の骨子案への意見募集は区報（とともに HP）でお知らせされただけでした。</p>

これからの約 10 年の杉並区のまちづくり計画であるにも関わらず、そのお知らせが区報だけというのはあまりにも情報周知が足りないのではないのでしょうか？（ちなみに私の家には区報は届きません。）

少なくとも今回の区報は「大切なお知らせが記載されているので全戸配布にします」というような取り組みが特別にあってもよかったと思います。

また、肝心の骨子案ですが、A4 サイズで印刷すると 24 ページ、目の悪い方だとかかなり拡大しないと見えない文字の大きさです。地図の中の地域名、路線名、道路名にいたっては、文章の文字サイズよりさらに小さく、比較的目のよい私でも全然読めません。区民にとってどれだけ大切な情報が記載されているのかという意識が低いと思います。

今回、区報に載った骨子案の募集に関して、地域の人々にお知らせをして回りました。「HP からご覧になれます」とお伝えすると、「パソコンがない」「プリンターがない」「スマホは使えない」という高齢の方々が少なからずいました。そういった方々はどうやって声を届けたらよいのでしょうか？（そういった方には意見票をプリントアウトしてお届けしました）

都市整備部で骨子案や意見票を配布していたようですが、もし最初から配布を予定していたのであれば、家にプリンターや PC がいない方のために「区役所 5F の都市整備部で資料を配布します」との記載があってもよかったと思います。もしくは、もっと言えば 10/1 の区報に、意見を書くアンケートのハガキを付けるくらいのことでもよかったと思います。

骨子案をプリントアウトしてじっくり読んだ方でさえ、わからないことがいっぱい、ちんぷんかんぷんとの意見も聞きました。行政用語も多く、一般の方が理解するには時間もかかります。岸本区長のビデオメッセージと動画でのメッセージは大変よい取り組みだったと思いますが、骨子案の内容についてせめて 1 ヶ月間は区役所 1F に大きなボードを貼りだして、担当者が常駐し、区民からの質問に答えるとか、7 地区の各区民集会所などで、説明会を開いて質疑応答をおこなうなどの取り組みをおこなってほしかったと思います。

## ② 骨子案の内容について

一番気になったのは最初のページに出てくる『2.まちの性格』における「道路などの基盤整備も進めるとともに、鉄道駅の周辺に多心型の拠点を配置し・・・」という文言です。

これは防災等にも関わってくることですが、杉並区は中央線、西武新宿線、丸の内線と路線や駅が多くあるものの、駅周辺に住んでいる人ばかりで

はありません。駅周辺に行くのは1週間に1度、2週間に1度、さらには1ヶ月に1度という方も多くいます。高齢になればなるほど、公共交通機関を使っただけの移動も大変になります。歩いて行ける範囲、自転車でいける範囲に学校やスーパー、集会所や防災拠点があることがどれほど大切なことなのかを多くの高齢者、子育て中の方からも聞きます。駅の周りにチェーン店がどれだけできても、毎日のように利用するのは近所の魚屋さん、八百屋さんです。近所の商店の店先で、また高齢者施設や保育施設で、頻りに近所の方と顔を合わせていけば、そこで情報交換ができ、いざというときの助けになります。いつ起こるともしれない災害に向けて大切なことは、駅前の巨大施設や開発に頼らない、近隣の小さなコミュニティづくりにあると考えます。

そういったことを念頭に置いて考えると、街中の道路づくりも何を大切にしたらいいのかがおのずと見えてくると思います。

足の悪い方や車いすの方でも無理なく移動のできる段差のない歩道づくり、都心部と行き来するための車中心の大型道路ではなく、歩行者や自転車を優先にした道路。住んでいる方たちの生活道路を通り抜ける車が日々往来するような幹線道路はこれ以上作る必要はありません。

### ③ 補助 221 号線の拡張計画に関して

高円寺学園の元保護者として補助 221 号線の拡張計画に関して意見を述べます。

2020 年に開校した高円寺学園は、高円寺南地域（元杉八小学区）からの児童の通学路の安全が踏られないまま開校してしまったため、学校・保護者・交通指導員の方々が大変な協力をして、開校当初の通学路の見守りや安全確保をおこなってきました。（××××××××××として警察など各機関にも見守りのお願いをして回りました。また元杉八小保護者でボランティアチームを結成し、1 学期中の見守りをおこないました。）

現在、環七の交差点（JR 高架下から東、JR 高架下から北）は、事故も多く危険度が高いため、小学生は通学路として渡ることが認められていません。

補助 221 号線の拡張計画は、この環七から東に渡った場所（デイリーヤマザキ）から、高円寺学園に向かう横断歩道がスタート地点となっています。全児童の約半数が必ず通る通学路となっているにも関わらず、東京都からの事業認可が下りてもなお、学校内での保護者に向けた説明会は開かれていません。これは一体どういうことなのでしょう？

現在の 5.45m 幅から 16m 幅（歩道を除くと 9m）の道を通学路として利

用しなければ通えない子どもたちや保護者に対してまったくと言っていいほど周知が足りていません。

もし 221 号線が拡張されてしまえば、朝の登校時間帯と下校時には交通指導員の見守りがありますが、学校内の学童、放課後居場所を利用する児童はたとえ低学年でも、指導員がいない夕方の時間帯にこの 16m 道路を一人で渡らなければならない、大変な危険になると危惧しています。

現在の 221 号線は横断歩道のない狭い道路ですが時速制限は 20 km であり、環七から中野通りまで繋がってるわけではないので、車の往来も多くはありません。歩行者は高架下から反対側へ、よく目視をすればどこからでも渡ることができます。高円寺南 5 丁目と北 1 丁目の住人が行き来できる重要な道路です。ところがこの道がもし 16m に拡張されてしまうと、北 1 丁目と南 5 丁目を行き来するためには、環七まで行くか高原公園まで行かないと向かい側に渡れません。時速制限も高くなるでしょう。急いでる方などが信号のない場所で、反対側に渡ってしまうことも考えられます。

特に心配しているのは子どもたちのことです。221 号線の端には高原公園もあり、その先には中野の四季の森公園もあるため、この道は子どもたちの利用も多いです。現在は自転車や歩行での移動も子どもたちだけでも安全に行えています。拡張してしまったら、危険なため通らせないということも起こりえます。そうなれば地域のコミュニティが分断され、生活にも影響が出てきます。

計画では、延焼遮断帯としての道路拡張を主張していますが、震災が起きた時にも、この大きな道路を渡らなければ避難所である高円寺学園に向かえないということは防災の面からも決してメリットではありません。道路が拡張し、沿線の建物の高さ制限も今より高くなれば、ビル風等の予期せぬリスクによって、逆に火が思いもよらぬ場所まで飛び火する可能性も懸念します。そして、無電柱化は現在の道路幅のままでもおこなえることを付け加えておきます。

防災に関しては、杉八小、杉四小が無くなってしまったことによって歩いて行ける場所に一時避難所が無くなってしまったことを大変懸念しています。近隣の高齢者の方からは、「高円寺学園までなんて遠くて歩いて行けない」との不安の声も聴きます。（高円寺南地域は体育館が一時避難所になっていますが、小学校とは機能が異なるものであり、一時避難所としての機能が果たせるのか不安です。）

今すぐに必要だとは思えない道路の拡張よりもまず、こういった地域の



	<p>方々の喫緊の不安の声を解消することから、まちづくり計画を初めてほしいです。</p> <p>これは、高円寺以外のどの街でも言えることです。それぞれの街に暮らす人たちが、当事者であり、自分の住む街のことをよく知り、愛着を持っています。各地域に住む方々の意見をよく聞いてくださいますよう、お願いいたします。</p> <p>④ 最後に、意見募集期間の短さと、『さとことブレストについて』意見募集の仕方については最初に意見を述べましたが、このように周知が徹底されてない中で10/17が締切りというのは大変期間が短く感じます。ぜひ延長を検討してください。また、延長を決定した場合はその旨をきちんと区民に周知してください。</p> <p>また、10月中旬から始まる『さとことブレスト』の参加人数は各回20人ということですが、少なすぎると感じます。町内会長や商店会の方などに事前に参加申し込みできる権利があるのも納得がいきません。10代の参加者を募集するのであれば、小中学校で告知をするなどの取り組みをおこなってください。さまざまな立場の方ができるだけ多く参加できるような仕組みを求めます。</p> <p>『さとことブレスト』とともに実施されることになっているアンケートについても内容を早めに明らかにしていただくことを求めます。「道路」は地域に住む方々にとって、暮らしと命、財産にも密接に関わる、決して小さくない問題です。区からの細やかな情報開示、意見交換を通してこそ、信頼関係が築けるものと考えます。区職員のみなさまのこれまでの努力を讃えとともに、持続可能で住みよい杉並をこれからも残していくために、区民に寄り添った目線で今後一層努力していただくことを期待いたします。</p>
21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車利用の促進について：歩行者の方が多く、自動車、自転車の少ない地域については、わざわざ推進する意味が分かりません。</li> </ul> <p>自転車も車同様に衝突の危険が伴うこと、道路、駐輪場の整備など不要な費用が発生するように思います。</p> <p>コンパクトで利便性が高い街なら歩行でいいのではないのでしょうか。以前のまちづくり懇談会でも、街を歩く良さについて語る人が多かったので、地域によってはシェアサイクルなども不要に感じます。</p> <p>地域によると思うので、区全体の方針ではなく、地域別方針に入れた方が良いでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西荻窪駅周辺の歩行者空間・快適性について：道路整備ではなく、人の多い駅前周辺を自動車の制限速度を20km/h以下にする、速度取り締まり強化などで対策できないのでしょうか。</li> </ul>

	<p>・このアンケートのようにテーマの中に具体的な方針が複数ある場合、4択の回答では近い考えとそうでない考えが混在するので回答が不正確です。現在、各方針について細かく回答する以外思いつきませんが、もう少し精度よく意見を集計できるようなものに改善してほしいです。</p>
22	<p>すでに賑わってるのに、賑わいを作るといのは、おかしい。今の賑わいを生かす。今の既存の商店街を大切にしたい。それは、人を大事にすること。</p> <p>人を大事にするから人が集まる。商業ビルなどの箱物を作るからではない。杉並の各地の商店街の生き生きとした賑わいを見れば明らかだ。長い時間をかけてできた人間の営みを壊すのは、簡単。ムダな道路の再開発で、壊さないで欲しい。魅力的な街並み、景観は、規制で整えるから作られるのではない。そこで暮らす人々の生き生きとした生活の結果なのだ。再開発対象の道路より、鎌倉街道の方が、よっぽど危ないのに。ヘンです。</p>
23	<p>■意見募集の方法について</p> <p>今回の意見募集はありがたいですが、非常に答えにくいし、時間が短すぎます。</p> <p>抽象的な表現でわかりにくく、ページを行ったりきたりしなくてはなりません。実際の光景と道路の名前、場所などの認識がうまくつながらず、短時間で思うように意見をまとめられる人がどれだけいるのだろうと思います。家を一軒作るのだって、家族の意見をまとめるのに3週間もないなどということがあるのでしょうか。</p> <p>住民の生活や暮らしについて、丁寧に声を聞いてほしいです。</p> <p>■補助 133 号線について</p> <p>善福寺川緑地を散歩すると、しみじみとした幸福感を覚えます。鳥の声やさまざまな樹木に出会えるところです。</p> <p>補助 133 号線のことを知りませんでした。誰が望んでいる道路なのでしょうか。</p> <p>豊かな自然環境を壊さないでほしいです。</p> <p>もし壊されたら、道路を通るたびに辛い気持ちになると思います。</p>
24	<p>意見せよとのことなので、意見書きます。まちづくりに関しては山ほど言いたいことがあるんですが、紙面に限りがある以上、かいつまんで書いてみます（書いてないことは認めたってことじゃないからね～笑）。</p> <p>まずはじめに、街とは何か。</p> <p>街ってというのは、人が集まって住み始めたりそこで仕事をし始めたりして、徐々にその集落が大きくなってきたエリアというのが、街の成り立ちの始</p>

め。なので、そこに集う住民たちや働く人たちのライフスタイルや行動パターンなどが積み重なって、その街のスタイルや雰囲気なども作られてくる。ってことで、その街の空気感をなるべくいじらないのが街づくりの基本中の基本だと思います。

ま、とは言っても防災にしてもそうだし、より快適に住めるようにするなど、行政側からのまちづくりがあるのはいいと思います。ただ、それは街の形成の過程の中では「微調整」であるべきで、行政側から大胆にガラッと変える必要はまったくないと思います。街のトータルデザインなんて迷惑極まりないもので大きなお世話以外の何物でもないですね、ホントに。

話は初めに戻りますが、やはり街は個々人の営みから滲み出てくるものを作るものなので、例えば中央線エリアであれば、人のコミュニティーの残る商店街や広場、公園などによって作られている街の雰囲気をどれだけ守れるかが大事です。さらには若い奴らや面白い奴らが集ってる中央線エリアはサブカルチャーやカウンターカルチャーなど、メインカルチャーとはちょっと違った角度からの文化がたくさんあり、これは日本中のみならず、近年では世界中でも有名になっていて、それを目指して中央線エリアに来る外国人もめちゃくちゃ多いです。あ、自分はゲストハウスも経営してたのでその辺すごくよくわかります（コロナで潰れましたが。。）。ともかく、そういう文化は杉並区にとってはものすごい宝で、日本中探しても他にないぐらいの、こんな特色あるエリアを持つ自治体なんて他にほとんどなく、死ぬほど自慢できる点です。そしてもちろん、そういういわばアンダーグラウンドカルチャーというのは、行政側からデザインしてできるものではありません。逆に行政側がやればやるほど逃げて行ってしまうのが、そういう文化の特性。例えば、中野のブロードウェイなんかはほっといたら続々とサブカルチャー系の店が勝手に集まってきたのもいい例だし、逆に阿佐ヶ谷のアニメストリートみたいに変に行政がお膳立てしようとしたら大失敗したことでわかると思います（あの失敗、教訓にした方がいいですよ～笑）。あ、あと、せっかくできた文化が逃げていった例もたくさんありますね。西新宿のインディーズ専門のレコード屋街とか、秋葉原のディープなオタクカルチャーもそうだし、謎の開発が進むとそういうカルチャーはだいたい自然と消えていきました。

サブカルチャーの街を放棄して商業路線に舵を切るのも一つの選択だと思いますが、中央線では一番やっちゃいけない路線なのは誰が見てもわかると思いますね。。

また、商店街などの人たちの顔が見える環境というのも、今の東京ではかなりレアな状態でもあるので、それを潰すのは絶対に避けたいところですね～

さて、そんな街の人々の流れに任せつつ微調整をしていく観点からのまちづくりに努めたときの「防災」への考え方も、旧来の巨大道路中心の防災とは全く変わってくると思います。

街の雰囲気ガラッと変えてまでする防災はするべきではなく、今の状態をどれだけ残したまま安全な街にしていくかを考えるのが行政の仕事だと思います。小型のポンプ車や消防車をどれだけ活用できるかとか、建て替える際に不燃性の建材に変えていくようなやり方は、今もやってると思いますが、それをもっと進めていくやり方もあると思うし、とにかく巨大な道路っていうのは最後の手段であるべきなので、それは一番後回しに考える方がいいと思います。もっと言えば、都市計画道路って東京がほとんど木造住宅だった頃の計画が基礎になって、ほとんど江戸の大火みたいに町中全部燃えちゃうようなのを想定してできてます。防災の観点からのまちづくりであれば、それは時代の変化とともに変わっていかないとマヌケですよ～

そして、岸本区長が言い出してる脱炭素社会。これを基礎に据えるのなら、巨大道路で車社会にして、そしてでかいビルが立ち並ぶような街づくりは全く逆の発想。むしろ、職住一体型で無駄な消費や無駄な移動も少ない“ほのぼののんびりタウン”にしていくのがとても重要だし、その方向に舵を切らない限りは脱炭素社会の実現には近づけないと思います。であればこそ、商店街や個人商店などを残しつつ、杉並に住む人が杉並で働いて、自分の町でも遊べるようなところになるのがすごく新しいはず（高度成長の人たちにはわからないかもな～）。あ、もちろん時には他の街にも遊びに行くし、他所からもたくさん遊びに来てほしい。ただ、小さい行動範囲でも回る社会を作りつつ遠方との行き来を活性化させるのはこれからの社会では超重要ポイント。タワマン作って都心部に通勤するとか、商業ビル作って企業やチェーン店を誘致するなんて、全く時代に逆行したとんでもない話。少なくともSDGsとか言って大道路とか高層ビルなんて、謎すぎるのでそれだけはやめといた方がいいですよ～

さてさて、では、個別のまちづくりにも触れておきたいんだけど、もう長くなってきたので、ひとまず自分のよく遊ぶ街でもある西荻と高円寺のみに絞って書いてみます。

まず西荻。北口の通りを大通りにするということですが、まずそれはやめた方がいいと思います。車社会ではないのが西荻エリアのちょっとゆっくりしいところなので、バスも通れる北口の通りをこれ以上広げてもしょうが

	<p>ない気がしますね～。最近はその北口の通りに巨大な田舎くさいショッピングモールとかできちゃって、ほら言わんこっちゃないって感じがします。あんなのできて、それで商店街がさびれていったらそれこそ面白くもなんともない街に一步近づくことになるし。</p> <p>で、ゆくゆくの流れとして南北を貫く大通りなんかになったら南口一帯の飲み屋街も開発は免れない流れになるだろうし、ホント、そういう開発の方向だけは避けてほしいところですね。</p> <p>そして高円寺。こちらでも西荻と同様、駅北口の商店街を潰して大通りにするというアホみたいな計画があるようですが、それ絶対要りません。高円寺の最も活気のある場所を潰して大道理にするなんて、完全に意味不明すぎるし、高円寺の良さを自ら捨ててしまうような愚策中の愚策ですね。</p> <p>そして、環七のヤマザキデイリーの脇から中野方面に伸びる道（補助 221 号線）も大通りにするという計画もあるようですが、これも高円寺の街に対する冒涇だと思います。中野が最近バカみたいにビルばかり建てて喜んでるみたいですが、そんなものに巻き込まれたらたまったもんじゃないです。謎の巨大ビル文化なんか高円寺に来て欲しくないし、高円寺文化と全く相容れないと思います。高円寺の街や社会というのは、商店街を中心として成り立っていて、そのおかげで街の人たちの顔が見える関係が築けており、それをわざわざ大通りと巨大ビルによって壊す意味がサッパリわかりません。</p> <p>さて、そろそろ今日のところはこんな感じにしておきますが、他に山ほどある言いたいことほとんど書いてません。またどこかの機会でも個人的にも色々表明もすることもあると思います。この意見募集で送られてきた声だけでなく、区民が普段どういう意思表示をしてどういうことを言ってるかにも積極的に耳を傾けていただければと思います。</p> <p>まちづくりは哲学だと思います。 お金の計算や、数字、勝手な街のデザインなどによって、まちづくりが左右されないことを願っています。</p> <p>※時間がなく先にザッと書いただけなので、推敲、校正などしてません。読みにくかったり構成がおかしい箇所があるかもしれないけど、お許しください～</p>
25	<p>みどり豊かであること、防災・減災のまちであること、自分たち住人を中心とした街づくりであること、と、今現実に生活している視点で目の当たりに</p>

	<p>していることが余りにも乖離しています。</p> <p>久我山と西荻窪が生活の中心ですが、それぞれの街で豊かな住宅地は細切れに分割され、道だけが広く家が狭く、交通量が多いため、親の目が届く範囲に限られた子供たちはマンションの駐車場や一部の公園でしか遊べていません。</p> <p>住宅地に辛うじてのこっている畑もどんどん宅地化されて、小学校の地産地消給食の目標とはかけはなれて、農作物は杉並区では取れなくなりそうな勢いです。</p> <p>高井戸公園は小学校が移転し、今までは子供たちやいぬの散歩の人たちがゆったりと行き来できたものが、みんながそこ押し込められてしまった印象です。</p> <p>効率的な街づくりは確かに各拠点を各目的で1対1に結ぶことで誰にも分かりやすくなりますが、一方で複合的な役割を果たす可能性を奪い、人との出会いを画一化する危険性も孕んでいます。</p> <p>駅周辺の開発や道路整備も、他の街にもあるような広い道路と高層マンションになれば、何が杉並を際立たせるのでしょうか？</p> <p>狭い道路と密集した木造家屋なら、その住民たちに独自の防災と自衛のコミュニティを育成する支援をするべきだと思います。勿論補助金などを有効に活用し現代の快適な生活を手に入れることも一案です。が、選択肢であるべきで、これのみを最善として確定すべきではありません。</p> <p>近所の畑から直接野菜を買える豊かさを支援せずに公園整備、拠点整備にはしるのでは、一旦区外とのライフラインが途絶えた場合に区民は自活の道を断たれます。</p> <p>我が家は大型犬がいますので、もし、災害が起こっても避難所には入れません。恐らくコロナ禍で多くの家庭が動物を家族に迎えていると思われます。その方たちの多くは家族を見捨てて避難所には行けないと言う選択をされるでしょう。その選択肢を理解したみどり豊かなすみにしてください。</p> <p>人間中心の街づくりであっても、人間だけが生きやすい街では何の安らぎも得られないと思います。</p> <p>漠然とした意見ですが、是非、前区長の利権に絡んだ人たちだけで構成する民間団体や企業との談合で、区民の意見を反映した街づくりを推進した、とはならないでください。どこにでもある街にしないでください。書籍「サードプレイス」の表紙に、西荻窪駅南口の飲み屋街の写真が使われていることを誇れる街にしてください。</p>
26	
27	<p>132号線沿いの道路拡張工事は必要最小限なものにしてほしい。本当に必要かどうかをまず考え、必要なければ中止という選択肢も検討してほしい。道</p>

	<p>路を利用する市民、特に街に長年暮らしている高齢者が、道路拡張を願っているかどうか、道路拡張をしないと生活しづらいと感じているかどうか、きちんとヒアリングしてほしい。誰一人、取り残さない社会の実現のために、そこに長年住む人たちの暮らしや商売が壊されてしまうことがないようにしてほしい。</p> <p>132号線沿いのプラタナス並木は、西荻を特徴づける魅力的な景観であり、これを壊して無個性な街に作りかえることのないようにしてほしい。</p> <p>西荻窪は、街ごとアンティークな味わいの漂う唯一無二の魅力ある街です。道路拡張工事により、自らの個性や魅力を自ら手放してしまうことがないように切に願っております。</p> <p>この味わいのある街だからこそ、休日には外部から人が訪れ、通りに賑わいが生まれるのだということを、くれぐれも理解してほしい。</p> <p>この街の魅力に吸い寄せられて、ここに住み始めた者として、新市長の熱意ある姿勢に最後の望みをかけております。</p>
28	<p>私はどこか懐かしさのある、穏やかで個性的な西荻窪に惚れ込み、居を構えて15年になります。</p> <p>この間、西荻窪というコミュニティは愛せども、余りに酷い区政に心底ウンザリし、次の区長選を心待ちにするような日々を送って参りました。</p> <p>そこへこの6月、常日頃「住民自治を我々側に取り戻す」ことを心に留めながら生きてきた私の前に岸本新区長が誕生したことは、どれほど喜ばしく嬉しかったことでしょう。</p> <p>岸本区長の誕生以来、区政により一層の興味を持ち、区議会の傍聴にも参加いたしました。そこでの自民党の一部、また公明党の質疑の酷さに激しい憤りを覚えました。それはまた別の機会に申し上げたいと存じます。</p> <p>この度は、まちづくり基本方針の「骨子案」に、我々区民の意見を募集しているとのこと。</p> <p>決定前のプランに区民の声を求めるという新たな取り組みについては評価するものの、骨子案の内容に関しては到底、受け入れることの出来ないような仕上がりであったことをまず、ここに申し上げておきます。</p> <p>それでは以下、当方の懸念点を3点下記にてお伝えいたします。</p> <p>■「まちづくり基本方針」骨子案そのものについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前区政から岸本区政に移行し、区政の方針が大転換したにも関わらず「まちづくり基本方針」骨子案は、ほぼ前区政の内容を踏襲したに過ぎない。</li> <li>・取ってつけたように岸本区長の公約にあるいくつかのキーワードをちりば</li> </ul>

めたのみ、区長の意向を存分に反映したものではありません、何を以ってこれによしとしたのか、良識はおろか常識を疑うレベルである。

・冗長なだけで、非常に読みづらい、わかりづらい。他自治体のマスタープランを見習ってはどうか。

・杉並区は従来より各地域ごとに学校や児童館、ゆうゆう館や商店街を配置し、その地域で全ての用が足りるような地域型のまちづくりをしてきた。一方で、今回の基本方針では一転、駅を中心とした多心型のまちづくりを前提としている。今までつくりあげてきたまちの在りようを壊し、駅前再開発を前提としていることが見え透いたこの方針転換には断固として反対である。

#### ■意見募集について

・向こう10年の杉並区のまちづくりを考えるにあたって、17日間で意見を出せというのは短すぎる。杉並区にとっては、この意見募集はその程度の位置づけということか。

・意見募集にあたっての周知が、全戸に配られることのない区報というのは論外である。（そもそも区報が全戸配布でないことが異常である。）インターネットを使える世代であれば何かしらこの意見募集を知ることの出来る可能性はあるが、情報弱者の方で区報が届かなければ機会はほぼないと言える。

・「区民への意見募集」の定義、目的とは特定の区民に限らず広く声を集めることにあるはず、そこからあまりに逸れた募集方法であり、意図を疑う。

・区民への情報周知、説明会開催等を十分に行ってから、そこで改めて区民からの意見を募集する機会を作るというのがあるべき順番ではないか。

・区民の懸念を払拭することなしに、今回の意見募集だけをもって区民の理解了承を得たとして計画を進めようとしていることに断固反対の意を示す。

#### ■都市計画道路補助132号線について

西荻窪駅前のジェントリフィケーション及び補助132号線の拡幅に反対する一市民の立場から、補助132号線の拡幅の中止を求める。

・そもそも「ゼロカーボンシティを目指すまちづくり方針」と自動車ベース社会を想定した「道路拡幅」には整合性が皆無である。

ゼロカーボンシティを目指すことは岸本区長の公約である以前に、世界的な気候変動問題への対応として、またひとりの人間としても当然必至である。統計的に見ても明らかに減りつつある自動車ベース社会を前提とした都市計画道路の推進ではなく、「ゼロカーボンシティを目指すまちづくり方針」に重点をはっきりとシフトして進めていくべき。



		<p>・「ゼロカーボンシティを目指すまちづくり方針」を主眼に置き、自転車の走りやすいまちづくりを実現するためには、いっそのこと拡幅対象の道路を一方通行にして、両端に自転車専用道路を整備してはどうか。大きな工事も要らず、二酸化炭素の排出も抑えられ、人にも自転車にも優しいまちづくりが実現可能である。</p> <p>・骨子案にある「西荻窪駅前・駅周辺の特徴を生かし、区民の利益にかなう街づくりのあり方」には賛成だが、一方、「道路整備方針」「幹線道路網の形成（都市計画道路の整備）」にある以下内容には反対である。  「幹線道路網（幹線道路・補助幹線道路）の体系的な整備を進めます。」  「整備においては、『東京における都市計画道路の整備方針』や国や都との協議、役割分担などの連携を図りながら推進します。」</p> <p>上記を文言通り受け取ると、本意見募集以前にそもそも前提として「杉並区は補助132号線の拡幅を推進していく」と読むことが出来る。岸本区長の当選の一因はこの拡幅工事に中止にあったはず。その区長名で出した骨子案にこのような記載があること自体、異常ではないか。</p> <p>・大正時代に端を発する、70年も塩漬けにされ続けた拡幅計画の妥当性を見直すべきである。  区は妥当性を担保するための言い訳として「防災」を主張しているが、防災は道路拡幅だけで実現し得るものではない。むしろ、例えば延焼防止の観点でいくと「初期消火」を最重要視する取り組み（住民参加の防災訓練の徹底など）が現代の主流である。また、そもそも広い道路が延焼防止に有効であるという根拠にも乏しい。  補助132号線拡幅にかかるコストは、果たして防災の実効性を鑑みて適正なのかを再検討いただきたい。  防災車両の通行上、拡幅自由のひとつとして大きく掲げられていた東京ガスも移転し、スーパーが建った今、もはや「防災」という根拠は成り立たないと思う。</p> <p>・もうひとつの補助132号線拡幅理由としてあげられている「渋滞解消」も、根拠として甚だ不十分であると言わざるを得ない。何故なら、実際に御覧になればわかる通り、132号線はほとんど渋滞などしないからである。渋滞ばかりで通行の妨げとなる、交通量に比して道路が狭く危険である、というのが常識的に考えた道路拡幅の理由足り得る事象であるが、そのいずれにも該当しない道路を、わざわざ多額の税金を投入して拡幅するというのは</p>
--	--	--

	<p>一体どういう了見なのか。理解不能である。</p> <p>百歩譲って、132号線を五日市街道まで一気通貫で通す、ということであればまだ検討の余地がある。しかし、現計画では拡幅区間が神明通りで止まっているため、狭い神明通りを左折し、クランク式にすぐに一方通行の道路を右折して五日市街道に出ることには変わりはない。132号線の拡幅で交通量が増えると想定されるにも関わらず、その先はそのままというのは渋滞リスクを上げるのみならず、事故発生リスクも上昇することは目に見えている。あらゆる点で、この計画には「理がない」と断言する。</p> <p>・国交省も「社会情勢の変化を踏まえ、都市計画道路建設を見直すよう」各都道府県に何度も通知をしており、全国ではこれを受け、東京都以外の全道府県で計画の見直し・中止が進み、廃止路線は総計2500路線を超えている実情がある中、なぜこれほどまでに区・都は都市道路計画推進に固執するのか。あらゆる意味で適切ではないこの杉並区の都市道路計画推進に対し、仮に都からの圧力があるのであれば、そこでこそ「フィアレスシティ」「都の言うことを聞かない」杉並区の出番ではないか。どうか善処を願います。</p> <p>・補助132号線拡幅計画は、駅前タワーマンションの容積率アップのために推進されているのではないかと、という住民の疑念は晴らされていない。前区長を含めた一部の政治家やその関係者、ディベロッパー等関連業者を利する計画なのか、そうではないのか、住民の疑念に対し調査・明確な回答を求める。</p> <p>・総じて、補助132号線拡幅は「まちづくり」などでは到底なく、明らかに街の破壊である。</p> <p>個人商店が軒を連ねる街並みを壊し、そこで生活する人々、商いを営む商店、その利用客、コミュニティを破壊するに値する理由が、もはや理のない「防災」「渋滞解消」で十分なはずがない。</p> <p>まずは、補助132号線拡幅計画を中止するべきである。区民に対し、区民が要望するだけの情報を誠実に、詳細に開示し、区民との対話をした上で初めて判断すべき計画であると考えます。</p>
29	
30	
31	<p>高円寺の線路沿いの道路についてですが、中野区は道路を拡幅すると聞いています。今でも車が多く人通りも多いので、杉並区だけ細いままでは事故の危険性が心配です。反対する声が多いと聞きますが、よく利用する道なの</p>

		で、安全性を考えて反対する人たちにも理解を得て、早急に進めてください。
32		地域別は、その地域全域にまたがる課題は見えてこない。駅、公園、流域、計画道路等々のエリアの課題を整理すること、みんなでの討議が進むと思う。
33		
34		<p>杉並区街づくり基本方針への意見</p> <p>1?区長選で出された民意を無視しないでください。</p> <p>⇒例え僅差でも、重要な民意です。 前田中区政そのままの中身で進めることは問題と考えます。 区長交代を機に、一度立ち止まり全計画の再考を願います。</p> <p>⇒東京都が進める都市計画道路に添う必要はないと考えます。 国は時代に合わせた都市計画への方針転換を進め、全国では見直しが相次いでいます。 参考) 平成 30 年 8 月 国土交通省都市局 都市計画課発行資料 都市計画道路の見直しの手引き (各論編) ~都市計画道路の必要性の点検に関する事例の整理~ <a href="https://www.mlit.go.jp/common/001250454.pdf">https://www.mlit.go.jp/common/001250454.pdf</a></p> <p>⇒杉並区民として誇りに思える、最新の計画への大転換を希望します。 全国に先駆けた・未来志向の・環境に配慮した緑豊かな・車や大型開発に頼らない・歩行者(人)を中心に据えた街づくり計画であって欲しいです。 今の計画では対象道路を囲む全ての街の文化が死んでしまうことを危惧します。</p> <p>大阪が取り組む「歩行者を優先した道路」は、人が集い商店街が活性化しています。 参考) 歩道にベンチや出店 大阪の御堂筋で歩道拡張の社会実験始まる   NHK 関西 <a href="https://www3.nhk.or.jp/kansai-news/20221016/2000067374.html">https://www3.nhk.or.jp/kansai-news/20221016/2000067374.html</a></p> <p>2?意見募集期間を伸ばし、全戸配布の広報で告知し直してください。</p>

⇒今回の意見の募集方法が拙速、分かりにくい、一部にしか伝わっていません。

これでは区民の声を十分に聞いたとは言えません。

大事な街づくりをこっそり進めるのは良くないと考えます。

3?説明会を西荻・高円寺のみでなく全駅（19 駅）で開催してください。

⇒この先 10 年の杉並の街づくりは、もっと多くの区民が参加して議論すべきです。

⇒対話重視への方針転換を期待しています。

公聴会を大々的にオープンな形で全地区で開催してください。

4?132 号線沿線での具体的な希望

・週末の歩行者天国実験 ⇒バス・緊急車両・居住者の出入りのみ通行可能とする実験。

（スーパー・ライフから南口一通の交差点までを車両通行止めにする）

・既に空いたスペース（2 か所）は区民の憩いの場とし、木を植えベンチとテーブルを置く。

・歩道の各所に休憩できるベンチを配置（街路樹の周りを活用・吉祥寺駅前を参考に）

・西荻窪駅ガード下の空き店舗を区が借り上げ、短期レンタルで区民がショップや展示会を

開ける場所に。（1 日～1 週間など）

・バス停にベンチや荷物置き場を配置してください。お年寄りが辛そうで見えてられません。

5?杉並全体への街づくりの希望

▼子どもの居場所が足りません。

幹線道路から外れた場所の空き家を区が借り上げて（防災対策を施し）「プチ児童館」を作ってはどうか？

区の児童厚生員の配置が希望ですが、当面はシルバー人材や地域の希望者を見守りとして配置し（研修を受ける・有給前提）、地域の子供達や親子、ファミサポが利用できると思います。

また、これを拠点とした子ども食堂を杉並区が運営してはどうか？  
ここは子どもが自由に過ごせる場所。お菓子やゲーム持参、自転車で来てもOK。子育て世代の救世主になると思います。

▼岸本区長の自転車推進に賛成します。そこで、区の自転車政策を進めて欲しいです。

⇒講習を受けた人には区内の駐輪場優遇措置をとる。駐輪場を小さくても沢山作る。

⇒子育て中の子ども乗せ電動自転車購入補助制度

参考) 桶川市

<https://www.city.okegawa.lg.jp/kodomo/kosodate/shienjigyo/2947.html>

⇒もしくは、電動自転車のサブスクを杉並区が運営（事業者に委託でも）。区に申請し、3か月・半年・1年など期限を決めレンタルする。特に子乗せ自転車は保育園の都合で必要になったり必要なくなったりする。また一人っ子では3年～5年ほどで買い替えが多く廃車になるのがもったいない。（5年以上同じ車両を借りた人には安く買い上げる権利があるなど）

⇒壮大な夢ですが、大人も2人乗りできる自転車を開発（杉並で）し、お年寄りを後ろに載せて移動できる特例措置を取れたら嬉しいです。

⇒自転車の小さなトゥクトゥクで浅草のような地域おこし。特に、井の頭線と中央線の移動が不便なので。「すぎ丸トゥクトゥク」。

▼防災対策として、防火・防寒・防音の補助と、狭い地域ごとの公民館復活。

⇒人が集い、近所の人顔が分かる街こそ防災に強い街。  
人を分断するのではなく繋ぐための政策に転換を期待します。  
そのためにも、住民が気軽に集える場所が必要です。

道路幅は、車優先の街づくりは人の繋がりを断ち切るので反対です。  
普段、街に最も集い生活者となっている、多くのお年寄りや介護者、子どもと母親は、歩行者か自転車です。彼らがかが過ごしやすい街こそが誰にもやさしい街ではないでしょうか。（ユニバーサルデザイン）

防災の観点では、ゆうゆう館や児童館という杉並らしい施設の拡充こそが、地域の人々を繋ぐことになり、防災対策の最も有効な手段と考えます。

▼DXを駆使し、区民からの地域の声を可視化させたい。投票制度はどうでしょうか。

⇒小学校のPTAでは保護者がQRコードから入力した内容を全保護者で共有し、危険な場所を把握します。この、杉並区民版を作ってはどうか。

このシステムでは、

?区民からの危険な場所（道の段差、タイルが剥がれてる、ガードレールが欲しいなど）の注意喚起や要望の共有

?区長への意見箱の様な、集まった意見を誰でも見れるようにして（個人情報への配慮や投稿者が公開希望の時のみ）区への要望を可視化させ、良いアイデアは投票制度を取り入れる。ネットで投票上位アイデアを広報すぎなみにて発表し、二段階で区民に投票してもらう。

?子どももこのシステムに参加できる。

将来的には「子ども議会」の設立を要望します。  
子どもの主権者教育、政治参加は大切な教育の一環でもあります。  
自ら考え行動する力を子ども達につけて欲しいと考えます。

		<p>形だけではなく予算をつけ、子ども達の声を形にする「子ども議会」です。</p> <p><a href="https://seijiyama.jp/article/columns/lm/lm20220805.html">https://seijiyama.jp/article/columns/lm/lm20220805.html</a></p> <p>以上、ご検討いただきますようお願いいたします。</p>
35		<p>ドイツみたいに、犬のフンをとる紙袋の自動販売機の設置。リードをかけられるところを増やす。ペットショップの制限。保健所と地域の繋がりを作る。</p>
36		<p>みどりと水のまちづくり方針</p> <p>●グリーンインフラの説明がありますが、防災減災の機能を有していることを追記していただきたいです。</p> <p>杉並区では河川の氾濫や洪水による被害が起こる可能性があります。そのような地域だからこそ、積極的にグリーンインフラを活用することでこれからの気候変動による豪雨にも対応していけるようになるのではないのでしょうか。また、ゼロカーボンシティを目指す中で分野をまたいでグリーンインフラを活用することは、区民の理解も得やすいと考えます。</p> <p>●水辺環境の保全と親水化のところに、合流式下水道の改善を追記していただきたいです。</p> <p>良好な水辺空間には水質の良い水が必要です。合流式下水道の改善することで、より水辺に親しみやすい環境が作れると考えます。また、下水は最終的に東京湾に流れこんでいます。水質を改善することで、SDGsの「海の豊かさを守ろう」という項目にも貢献できるのではないのでしょうか。</p>
37		<p><b>【意見募集について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事項の重要さに対して受付期間が短く思われます。</li> <li>・募集動画の公開は大変素晴らしいと思いますが、地区ごとの骨子案を掘り下げまとめた動画も拝見したかったです。(地区ごとに1動画ほどのボリュームで。)</li> <li>・全体的に説明の多くが表面的に留まっている印象を受けました。</li> <li>・投票率と同じく、大半の区民にとってはまだ他人事の印象です。意見募集に関するCMやチラシ作成・各宅への配布などしてもよいくらいでは思っていました。</li> </ul> <p><b>【以下、主に西荻の132号線拡幅について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災やインフラの強化自体には賛同ですが、的確か疑念を感じる地域が多々あります。特に西荻132号線の道路拡幅は優先すべき事項と思えません。老朽化や店舗引退に伴い建て直す際、徐々にセットバックしていくので</li> </ul>

	<p>あればわかりますが、まだ現役の個人店や住居を、先行きも不透明ななか一律に取り壊し拡幅する計画には賛同いたしかねます。</p> <p>(道路付近に住んでますが、そこまでの不便も感じておりません。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拡幅した後、通りに個人店は戻るのでしょうか？ただ、集団住宅ばかり並ぶ画一的な道路となる想像ばかりが浮かびます。施工するのであれば、拡幅後の具体的なデザインを共有して欲しいですし、これから設計していくのであれば住民の意見を汲み取った上で進行していただきたいです。</li> </ul> <p>徐々に拡幅で十分に思っております。(神明周りのクランクしてしまう拡幅案は見直し頂きたいですが。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下北沢は再開発と住民の意向がかなり組み合わせあった例だと思いますが、西荻には既に独自の強みがあると思います。そこが街の賑わいに通じています。道路計画や再開発がどう進行していくにせよ西荻に愛着ある方々のユニークな視点をどうか取り入れてください。</li> </ul> <p>現実的に膨大な兼ね合いがあると思いますが、区民としては今ようやく住民参加という前提が出来た認識です。</p> <p>ここから数ヶ月で決定となるとあまりにも短かいです。</p> <p>積極的に当事者や区民を巻き込み話し合いをしていただきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路予定地となっている空き地に何か配置できないでしょうか。先日、他県から訪れた友人が空き地の景観に苦言を呈していました。ベンチや自転車レンタルスペース(駐車場はすでにあるので)、場所によっては仮店舗(フリーマーケットスペースやキッチンカーなど)が有ると嬉しいです。</li> <li>・ 防災強化としては区長が提案されていた低コスト案や、電柱地中化・善福寺川周りの水害対策の強化を先行していただきたいです。</li> </ul> <p><b>【ほか西荻周りへの要望】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅周辺もう少しベンチなど座れる場所があると嬉しいです。</li> <li>・ ピンクの象グッズもふるさと納税返礼品に追加できないでしょうか。。杉並区全体の話となりますが、カルチャーが強い区域であるとも思いますので、少し突飛な趣きの返礼品があっても良いように思いました。</li> </ul> <p>以上、素人目線ですがご参考いただけますと幸いです。</p>
38	<p>70年前のR133号道路計画を住民の意見を聞かず無理矢理実行することは住民を無視した役所仕事だと思います。将来の杉並区の地元住民の繋がりを重視する様な政策を検討し住民第一の都市計画を実行して頂きたいです。</p>
39	<p>都市計画道路補助132号線の整備について必要性を感じられません。道幅や歩道がもっと狭い地域は沢山ありますし、防災を理由にするなら、具体的な防災プランが無くてはいけません。交通量も大して多くないこの道路を広げることが、西荻に暮らす人達の住みやすさに利するとは到底思えません。街は</p>



		<p>分断され、排気ガスは増え、事故も増えるのではないのでしょうか。具体的に現在どのような問題があり、どのように改善されるのか丁寧な説明と納得できる理由が必要です。立ち退きを迫られる人達の人生にも大きく影響します。住民との対話を最重視していただきたいです。</p>
40		<p>まず初めに、意見書提出までの期限が短すぎます。あれだけの膨大な量の骨子案を読むだけでも大変なのに理解して意見をまとめるのは区民にとってかなりの負担では。区民と対話をする姿勢を見せてほしい。</p> <p>&lt;骨子案について&gt;</p> <p>○ジェンダー視点からのまちづくり わたしは、これからの時代は車ありきのまちづくりではなく歩行者や自転車が移動しやすい物にしていくべきだと思います。自家用車は多くの場合男性が所有し利用しています。現状まちづくりが男性視点になっていると感じます。女性は自転車や子連れでベビーカー押しであるケースやバスなどの公共交通機関を利用することが男性よりも多いと思われます。そうした人たちに配慮したまちづくりをしてほしい。多様な立場からのまちづくりを望みます。すぎ丸に関しては、利用者のニーズに合った本数、走行経路、無料化等、再考してほしいです。</p> <p>○道路拡幅、再開発について 高円寺や西荻窪の道路拡幅駅前再開発には断固反対です。防災の観点からも、大きな道路を作るより地域の人々のコミュニティ温存が大切です。防災には初期消化ができるかにかかっているとの事。そのためには地域の人々のコミュニティが最も大切と思われます。新しく大きな道路を作る事は現在あるコミュニティを破壊します。工事にもとてつもない時間も労力もお金も割かれ、気候危機にも繋がります。杉並ではゼロカーボンシティ宣言がされたばかりということもあり、二酸化炭素を大量に排出する道路工事や再開発は、時代にそぐいません。</p> <p>○子ども施策 子どもの居場所について、大人都合の効率化でなく、子ども一人ひとりの状況を鑑みた取り組みをしてほしい。児童館に放課後居場所、学童のシステムについて改めてほしい。子どもは家畜ではありません。子どもの人権を尊重してほしい。今のままでは子どもの主体性も創造性も大人が奪う形となっている。</p>

	<p>岸本区長に代わってから区が環境が明らかに変わったと見受けられます。さまざまな立場の人達とこれからも議論を重ね精査しよりよい杉並区になる為にこれからも勉強、運動、監視をしていくつもりですので、ぜひ職員の皆様、区議、市民が一体となって邁進していきましょう！</p>
41	<p>「人に優しい」まちづくりとして骨子案は概ね良いと思います。</p> <p>実現にあたっては、中でも強調されていましたが「住民との対話」や「様々な意見を尊重する」ということに重点を置いて取り組んでいただくことを改めて要望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備につきまして 道路拡張反対の声が大きい沿道、成田地域など既に住宅街となっているところの新たな道路建設については見直して頂きたい。</li> <li>・自治体の個性を活かした街づくり 国や都と連携する必要があるがあってもその方針と相入れない部分が出てくることもあるかと思えます。 地域住民の生活を最優先に考えて頂きたいです。</li> <li>・景観について 広い空を遮る高層建築はみどり豊かな杉並のイメージとは合わないと感じます。 たとえ駅前でも高さ制限が必要ではないでしょうか。</li> <li>・ゼロカーボンシティについて 太陽光パネルや電気自動車など開発から廃棄までを考えると脱炭素事業の中には環境に負担をかける面もあります。 喫緊の課題ではありますがしっかりと検討をお願いします。</li> <li>・その他 コンパクトにまとめられた動画を作成して頂き感謝します。 行政は複雑でわかりにくい、意見を言いにくいところがあるのですが（杉並区以外でも） これからも住民が地域自治への参加がしやすい取り組み、そのための徹底した情報開示を期待しています。</li> </ul>

		<p>ありがとうございます。</p>
42		<p>補助 133 号については、中止して欲しい。中杉通りの交通量をを増やさないで欲しい。</p> <p>中杉通りの檜並木は宝物です。これを守っていく施策が見えない。</p> <p>杉並第一小学校の土地を売り飛ばさないで欲しい。</p> <p>巨大ビルを建てるのが前提の計画は改めて欲しい。</p> <p>高層ビルを建てたい人のために、町が壊されていくのを見るのは忍びがたい。</p> <p>公有の土地は直接住民の利益になることを前提にして欲しい。</p> <p>一等地に小学校が有って何が悪いのか。</p> <p>後で取り戻そうと思ったらどれだけ大変なことになるか。</p> <p>高層ビルが林立する駅前寂れるし、周辺の商店や飲食店にも影響は及ぶ。</p> <p>阿佐ヶ谷駅南側の高層ビルは何の活性化にもならなかった。</p> <p>魅力的な町に繋がらない再開発は大資本が儲けるだけでしょう。</p>
43		<p>骨子としての都市計画なので、入っていないのかもしれませんが子供（小学生）の体力測定の結果が全国平均と比べて、とても低いことが気になります。</p> <p>公園などは、ボールの使用制限などもあり、数少ないネットの空きを求めて公園をはしごし、ネットの中に</p> <p>子供がすし詰め状態です。</p> <p>（公園のネットが、どこかのクラブで使用されているということもありました）</p> <p>サッカーや野球、バスケットゴールの利用など、小・中学生が放課後にもっと伸び伸びと身体を動かせる場所が必要だと思います。</p> <p>また、夏場などは暑くて、じゃぶじゃぶ池のない公園はほとんど人のいない状況かと思います。</p> <p>半屋内のような、施設があると良いかなと思います。（山梨県の笛吹川フルーツ公園にあります）</p> <p>体育施設などがありますが、コロナ禍で大きな体育館の予約が取りにづらい状況になっており、利用をするには基本的にはどこかのクラブなどに所属し、お金も</p> <p>かかり、時間もやはり 1 時間など限られます。</p>

	<p>自転車の交通整備方針</p> <p>安全で快適な自転車利用の推進とありますが、ここは、是非時間をかけてよく検討をしていただきたく思います。</p> <p>とくに、道路のはじっこに自転車道路が整備されている道もありますが、自動車の路駐によって、行く手を阻まれ、大きく道路側にはみ出して走行をするか</p> <p>歩道に戻るときに歩行者と交錯したりと、まるでサバイバルのような状況です。</p> <p>特に、環状八号線周辺は大型トラックなどが多く走行し、朝の通勤時間帯などは時間をつぶしているようなトラックが大変多く、駐車場のあるコンビニや自転車道路に路駐しているというケースが見られ、子供たちにとってもとても危険な状況かと思えます。</p> <p>早稲田通りなども道路拡張により、トラックの自転車道路の路駐が増えてしまうと、余計に緊急車両などの通行を妨げ、便利になるどころか、地域住民の生活にも危険が及ぶ結果となるかと思えます、</p> <p>道路の整備には、多額の税金がかかり、工事の騒音など周辺住民にとってはとてもストレスがかかると思えます（特に今は、コロナにより在宅勤務も増えています）</p> <p>くれぐれも路駐のための自転車道路にならないように対策を充分検討の上実施していただきたく思います。</p> <p>中野駅や、二子玉駅などは、買い物客や公園などで遊ぶ方用の広い自転車置き場が地下にあり、</p> <p>母が買い物や用事を済ませているときに、公園で遊べたり、ファミリーにやさしい街づくりだなと感じました。荻窪駅も買い物だけではなく、遊びに行けるようなファミリーにも優しい駅ターミナルを目指してもらいたいなと思えます。</p>
44	<p>全体感としては、新しい点はゼロカーボンだけか？それ以外は、従来からの話と何も変わっていないように感じた。内容的には賛同する部分が多々あるが、具体的なイメージが見えない。良い点のみを示した方針は、記述も簡単だし、賛同も得やすいが、そのための予算や進め方、さらには住民の犠牲などもきちんと明示されないと判断できないというものではないだろうか。例</p>

		<p>えば、道路整備の計画は、昭和時代に作成された計画でもって進められており、多くの住民の犠牲のうえに成り立つ現計画には疑問を感じる。同じ計画でも、もっと住民の犠牲が少ないスマートな道路整備があるのではないだろうか。結論ありきならば仕方がないが。</p>
45		<p>無理な道路計画で 自然や人の営みを壊すことのなきよう お願い致します。</p>
46		<p>&lt;はじめに&gt;          今回このような住民の声を集める機会を作ってくださいありがとうございます。          イレギュラーな企画に区役所の方々にとっては大変な負担なことと思います。          この都市整備の問題については住民からの反対の声が多く、区役所の方々には心労がかさむ出来事もあったのではとお察しします。          しかしながら、杉並区を終の住処にしようとする人、ここで暮らしていく人々にとっては死活問題であり          生死を分けると言っても過言ではない、生きていく上での根幹である問題であることをご理解いただきたく存じます。          「生きやすさ」は必ずしも数字では測れず、また、時には、経済的利便性とは対極に位置するところにあります。          この杉並区は、人々の心の豊かさや人生の彩りで構成されていける数少ない地域だと認識しています。          是非、杉並区の発展を、数字で弾き出すだけの消費型で安直な案に任せず          区民の声にアイデアを求めていただければと思います。</p> <p>&lt;基本姿勢について&gt;          反差別・反ヘイトについて対策することは「誰もが暮らしやすいまち」、まちづくりの3つの目標にある「犯罪を生まないまち」に繋がると考えます。          ヘイトスピーチはヘイトクライムに繋がりが、それは杉並区の「雰囲気」や「住みやすさ」に直接関わります。          まちづくりへの盛り込み方が難しいようでしたら、まず、反差別条例の制定をご検討ください。          まちづくりへの根拠や目安となると考えます。</p> <p>&lt;脱炭素を目指すまちづくり&gt;          消費型のエネルギー依存からの脱脚が大きな課題と考えます。          ・ 公立学校や公営施設の屋上へのソーラーパネルの設置(環境教育への活用)          ・ 公園、屋敷林等の樹木の保存          背の高い樹木は夏の暑い日差しを遮り地面の温度上昇を抑えてくれます。</p>

	<p>(背の高い樹木のある公園と整備されて日差しの遮りのない公園では夏の日の体感温度が全く異なります。)</p> <p>&lt;土地利用・市街地整備方針について&gt;  西荻北銀座通りにある道路予定地の活用を検討。  工事着工までの期間だけでも「誰もが暮らしやすいまち」「地域特性を生かした個性的なまち」づくりに繋がられるのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンチの設置  西荻北銀座通りは起伏があり荷物やベビーカーがあると一休みしたくなる。</li> <li>食べ歩きをしたくなるお店がたくさんあるが、買ったものをその場で食べる場所がないので結局買えないということが多々ある。</li> <li>・無人販売や路上販売スペースの設置  野菜スタンドのような地元の野菜、お菓子、お惣菜などを販売(ベンチ併用できたらより利用しやすい)</li> <li>・間借り店舗にする  雑貨等のアーティストの販売スペースにする。</li> </ul> <p>&lt;神明通りから五日市街道への抜け道計画について&gt;  自動車交通量が誘導される結果になれば環境負荷は上がるのではないのでしょうか。  また、既存の民家を立ち退けてまで拡幅しなければならないほど、緩和すべき渋滞がどこかに発生しているのでしょうか。</p>
47	<p>杉並区は静かで穏やかな街であってほしいと思っています。吉祥寺や新宿のような繁華街にはならないでほしいです。 unnecessaryな道路拡張は街を分断させ、情緒のない街並みにしてしまいます。</p>
48	<p>都市計画道路の見直しをして下さい。  地元住民からの反対を押し切って進めないで下さい。住民が必要ないと判断したら作るのはやめて下さい。ちゃんと住民のために税金を使って下さい。本当に必要なのは新たに作られる大きな道路じゃないです。  目先の生活に困ってる人のためにもっと力を貸して下さい。今年の夏は異例の暑さで毎日熱中症寸前で本当に辛かったです。来年の夏が怖いんです。道路開発の何倍も命の方が大事です。大きな道路を作って地域を分断しないで下</p>

		さい。お年寄りや子供たちは大変です。住民に優しい杉並区であって下さい。お願いします。
49		<p>杉並区の公共施設(行政窓口・図書館・保健センター・地域センター・郷土博物館など)は、概ね主要駅から離れていて不便なところが多いです。初めて行く場合には、迷う事も多々あります。高齢者や小さい子ども連れの方のために、すぎ丸より小型で良いので特に公共施設等の巡廻型移動サービスを以前から希望していました。</p> <p>この度の、「まちづくり基本方針」の交通整備方針の中に、新たなモビリティサービス活用に向けた取り組みを推進するとあります。</p> <p>ゆっくりでも良いので、杉並区の各地域で小さな移動サービスが始まるのを期待しています。</p>
50		<p>各都市計画道路及び防災計画において、コメントをできたらと思います。</p> <p>京都のように伝統のある街づくりで息づいてきた防災・減災等の取り組みを木密地域や狭隘道路を持っている地域に取り入れることで、大きな道路を作らなくても街は維持できるのではないのでしょうか。大きな道路を作って、延焼をとめたり、緊急車両を通しやすくするのではなく、緊急車両の小型サイズの車両を導入してみたり、地域の中での横のつながりを大切にしたり。</p> <p>私、高円寺民ですが、救急車の要請をしたとき、車が入れるところまで入り、あとはストレッチャーでした。</p> <p>それでもいいと思うんです。商店街の方々は、ちゃんとストレッチャーが動きやすいように動線を作ってくれる。</p> <p>車に優しい街づくりよりも人に優しいまちづくりがいいと思います。</p>
51		<p>各都市計画道路及び防災計画において、コメントをできたらと思います。</p> <p>京都のように伝統のある街づくりで息づいてきた防災・減災等の取り組みを木密地域や狭隘道路を持っている地域に取り入れることで、大きな道路を作らなくても街は維持できるのではないのでしょうか。大きな道路を作って、延焼をとめたり、緊急車両を通しやすくするのではなく、緊急車両の小型サイズの車両を導入してみたり、地域の中での横のつながりを大切にしたり。</p> <p>私、高円寺民ですが、救急車の要請をしたとき、車が入れるところまで入り、あとはストレッチャーでした。</p> <p>それでもいいと思うんです。商店街の方々は、ちゃんとストレッチャーが動きやすいように動線を作ってくれる。</p> <p>車に優しい街づくりよりも人に優しいまちづくりがいいと思います。</p>

52	<p>10年間ほどのまちづくりの大きな方針案にも関わらず、今回骨子案のアンケートを取っていることを知っている杉並区民はほとんどいないのではないのでしょうか。</p> <p>たまたまポストに杉並区議会議員の方の活動レポートが郵便受けに入っていて知りましたが、街を歩いてもアンケートをやっていることを知る機会はありません。そんな状態にも関わらず、今後10年間の方針案に対し、10月1日から17日までの短期間で回答をつのり、回答方法もホームページからか、意見票を郵送かFAXとのこと。</p> <p>非常に不親切でそもそも杉並区民の意見を聞く気がないことが今回のアンケートのやり方から感じました。</p> <p>アンケート作ったから意見言えるでしょ、というようなやり方ではなく、子供からお年寄りまでがアンケートに答えやすい状態にして初めて「区民の声を反映する機会」を作ったといえるのではないかと考えます。ただの形だけ、のように感じます。(骨子案のパワーポイントもわかりにくかったです)</p> <p>「都市計画道路補助133号線の計画」については反対です。今ある緑を大切にしてほしいです。</p> <p>公園の整備をしてほしいです。最近、都内から引越してきましたが、公園がほったらかし感・手入れされていないように感じます。</p>
53	<p>今回の「杉並区まちづくり基本方針(骨子案)」以下「マスタープラン(骨子案)」には、前回の「平成25(2013)杉並区まちづくり基本方針」以下「2013マスタプラン」には含まれていない大きな変化が策定の前提に加えられようとしています。</p> <p>それは、「基本姿勢」における(2)脱炭素化の視点からまちづくりを推進するであり、「方針」として新たに示された「ゼロカーボンシティを目指す街づくり方針」です。</p> <p>しかし、今回のマスタープラン(骨子案)の中の施策に対して、具体的、明示的に反映されているとは言い難いと感じます。それらを施策に加味した時、従来行うとしていた事項を「中止」したり、大きく「軌道修正(変更)」することが避けられないと考えるからです。この観点から従来施策の抜本的見直しを行い、マスタープラン(骨子案)の中に明確に映したものとすることを希望します。</p> <p>今回の「杉並区まちづくり基本方針骨子案に関する意見票」に関しては、骨子案の総合方針および地域別方針への意見票1項の評価は、私が最も大事と</p>



考える「市街地整備」および「道路整備」に重点をおいて行いました。そこで、4と評価とした「ア土地利用・市街地整備方針」、イ道路整備方針については、意見票2項の記述の形で修正要望や意見を記述しました。また、地域別方針については、「市街地整備」と「道路整備」の影響が大きいと判断し、コ西荻、シ阿佐谷、ス高円寺を3評価としました。（他の、地域内分野別方針項目評価では+評価も含まれるため、4でなく3とした）

#### 市街地整備について

駅周辺計画が、道路を拡張し、タワーマンションを立て、大型チェーン店が入店し、どこの街か分からない、みんな同じに見えるワンパターン開発になるのには賛成しません。

こういう開発は、一時的に人口を増やすことになっても、長期的に見た場合、持続可能かどうか疑問です。また、他区を含めあらゆる街が同じことを目指したのでは、需要不足になるのは自明だと思います。

車が減り、人口減少・高齢化に向かうことを前提とした街づくりを考えなければなりません。それは、今の街、特に商店街をできるだけ活性化させ、道路は、防災・減災のため狭あい道路を修正するにとどめ、住宅の質の向上と、特に杉並では都市農業を残し、活用する街づくりを進めるべきと考えます。

#### 道路整備方針

「事業を進めるにあたっては、地権者等関係権利者と合意形成を図ることに重点を置き、住民との対話を重ねていきます」との方針項目が入りながら、重点19路線について、「進める」と読まざるをえない状況にあります。

将来、概ね10年のちゃんとしたプランにするためには、関係権利者と合意形成に至っていない施策については、「これこれの変更を加える」あるいは「一旦立ち止まって合意形成に努める」とすべきと考えます。

また現時点で重点19路線について合意形成が「どこまででき、あるいはできていないか」の区の理解を明示してもらうことを希望したい。

各路線ごとに〔5：おおむね合意形成が完了している・4・3・2・1：まったく合意形成に至っていない〕にて評価。

そもそもすべての道路整備計画が住民が希望・要請したものではないし、住民の意見や希望が反映されたものとは言い難い。2013 マスタープランにおいて、実施とされていた計画についても、10年がたった今でも、地元住民からの反対意見が多く示されており、合意形成ができていないとは言い難いの

		<p>が実態と思えるし、合意形成の努力が足らなかったと思わざるを得ない。主に、冒頭記載の環境面における新たな状況変化を踏まえ、最新状態での必要性の明示と共に、早急な住民との合意形成をおこなうことで、抜本的な見直しを行いマスタープラン（骨子案）への反映をしてもらいたい。</p> <p>以上</p>
54		<p>私は政治には関心があるにはあるけれど、詳しくはないしひとりの市民がどう思ったところで意思は政治に反映されないと思っています。今回、岸本区長の当選で今までとは違うのかもしれないと思っています。半信半疑です。ただ、日本の国政や地方自治がどの程度のもので、世界の主要都市の政治と比較するとどのようなものであるのかは、何となく浅い知識ではありますが思うところがあります。言いたいのは、杉並区はまだまだ伸びしろがあるはずだと思っています。そのことをいち区民として見届ける気持ちです。ここで何も成果がなく、ありがちな利権がらみ、既得権益のごたごたでいかにも日本らしい残念な景色が見られるなら、おそらく今後まだしばらく日本の政治はダメなのだろうな。そんな気概を持って見守っております。ただ、先ほど述べたように私は政治に詳しくなく、あくまで一般市民です。だからこそ、一般市民の意識を政治に向けるような活動を期待しています。市民を巻き込んで、市民の理解を得るような政治、また市民の政治への民度を高めるような「賢い市民」の住む杉並区に向かってほしいと思います。一部リベラルな市民団体ではなく、広く一般市民が普通に政治に関心を持ち、世間話としてユーモアを交えつつ政治を語る市民がいる杉並区を期待しています。</p>
55		<p>&lt;全体について&gt;</p> <p>○ 今回の意見募集は、手続き的に拙速である。そもそも、今後10年、20年を見通してのまちづくりをどうするのかという一大イベントである。そのために住民の意見については、丁寧に掘り起こすのが基本である。杉並区のまちづくり担当者は、これまでの利権がらみの一部の人たちによるまちづくりに相も変わらずしがみついております、これまでのスクラップ&amp;ビルト式の公共事業により税金を還流させる業者優先の事業方式は、総括し抜本的に改める必要がある。今後、都市計画審議会などを含めた従来型のまちづくり推進機構を抜本的に改めるべきである。杉並区は、まちづくり方針をまとめるにあたる前提として、こうしたことを具体的にすすめ、本来の行政のありかたに一日も早く立ち戻ってほしい。</p> <p>○ 今後のまちづくりの視点として、地球規模の気候危機対策を中心にすべきである。地球規模で気候危機が顕在化しており、その対策の実行には一刻の猶予もなく、従来型の浪費型再開発は反省し見直されるべきである。ところが優先整備路線はそのまま進める案となっているが、区としてこれらは見直して「環境優先」「車よりひと優先」社会を具体的にすすめる方向を打ち</p>

出すべきである。

○ 従来からのまちづくりの考え方は、防災都市づくり（主には地震が起きても火災が広がらないまちづくり＝そのために道路拡張を基本としている。これまで区では、その理屈、根拠づけている資料を恣意的に利用してきた。その根拠のフェイク性を、第三者を含めて抜本的に検証し住民へ誤解をあおる説明は改めるべきである。たとえば、①耐震化率、不燃領域率、狭あい道路拡幅整備率、優先整備路線整備率の変化をまとめて、かつ区内全体で一気に進むという現実的にありえない前提条件で被害をシミュレーション・想定している。②杉並周辺の風は南北方向だが、風が弱ければ東西方向の鉄道、道路、公園などで延焼は起きない。しかし、都市計画道路 227、132、133 号線など南北方向の道路で延焼遮断ができるかのよう説明している。③道路の延焼遮断効果を説明する際に、道路拡張で沿道のまちなみが一気に高層ビルが連立することを前提にしている。④道路幅の効果は原典（阪神大震災の延焼の状況）にある微風などの条件下である注意事項を略して 16m 幅で効果があるとしている。⑤「地震被害シミュレーション」は出火防止対策を無視、初期消火できず火災が広がることを前提にしている。住民の命・財産を守る事を課題にしていない。⑥災害時の車両交通、避難路を確保するために無電柱化が必要とし、そのために 16m への拡張が必要としているが、無電柱化は道路幅員が狭くても可能（京都の事例で一目瞭然）で、道路拡幅はその条件にはならない。しかも、一部を無電柱化では効果はなく、効果をえるためには面的に行う必要がある。

< 不要不急で問題点が多い都市計画道路 221 号線の拡張事業について上記以外の補足 >

○ この都市計画道路事業の目的は、急速に動き出した中野駅前開発、中野区 囲町地域の開発支援である。高円寺地域への影響が大きい中野駅前開発だが、中野区からも杉並区からも高円寺住民に広報されることもなく、「高円寺地域の住民からの意見等はなかった」として進められてきた。杉並区民を中野駅前開発の利権の犠牲にすべきではない。区は、中野駅前開発から区民の生活をまもるという立場を明確にすべきである。

○ 拡張されれば高円寺北 1 丁目の道路沿いには高いビルが建ち、域内の路地には通り抜け車両が増加し、閑静な住環境は悪化する。これでは住民は、まちづくり利権に振り回され、高円寺北 1 丁目に引っ越してきた意味がなくなってしまう。こういう再開発は、まちづくりではなくまち壊しである、住民追い出しであるという認識を区は持ち、本来のまちづくりの立場で責任もって見直すべきである。

○ 住民への説明と、実際の行政手続きが一貫していないことを公表すべき

	<p>である。例えば、①事業認可申請にあたって区のいう「(用地測量は)6割終了」は、借地人や借家人等の関係権利者の数を反映していないなど事業に反対しているものをより少なく見せている。②221号線拡張の根拠として「拠点形成と拠点間連携」として区は「高円寺駅と中野駅間のアクセスの向上」という。しかし、高円寺北1丁目から高円寺駅、中野駅まではそれぞれ徒歩で約10分で、221号線を拡張しようが、その時間には大差ない。むしろ、道路拡張で通り抜ける車両が増加、スピードが増加、信号設置は限られ、車は便利になっても歩行者は特に南北方向へはアクセスしにくくなる。横断による事故遭遇の危険が増える。しかも住民説明会で根拠とされた「歩行者の安全性・快適性の向上」については東京都への事業認可申請書では消えている。③都への事業認可申請書は避難場所を「比較的遠い地域」にあるかのようになっているが、高円寺北1丁目の住民の避難場所は、隣接する中野区の四季の森公園・中野区役所周辺である。避難場所へのアクセス向上を整備根拠にすることはできない。</p> <p>以上</p>
56	<p>児童館や図書館などの文化と教育の施設を充実させてほしいです。 低家賃の公営団地で誰もが安心して住める杉並になるといいと思います。</p>
57	<p>脱炭素やまとまった緑の保全が掲げられていることは評価できますが、それにもかかわらずいくつもの道路整備が計画されていることは、納得できません。これから、人口減少が進むのに、これ以上の道路が必要でしょうか？補助133号線の計画は、善福寺川緑地に少なからず悪影響をもたらすことは明白です。また、高井戸オンランプは、杉並区を通過する車両を増やすだけで、区民にとってメリットは乏しいと思います。</p>
58	
59	<p>補助132号や補助227号、補助221号に見られる道路の整備計画の方針は「基本姿勢」に掲げられる5項目すべてに反し、また「改定における基本的な考え方」の(2)～(8)にも相反する内容だと考える。幹線道路・補助幹線道路のような大きな道路は、歩行者や自転車などを利用する住民の移動に大きな影響を与えるからだ。自然環境や生活環境、人中心の動線、バリアフリー、SDGsなどの観点からトランジットモールなどが注目される昨今の潮流にまったく逆行するコンセプトだと考える。のような地域コミュニティーを地理的に分断するような道路計画は見直し、子どもや障害者、高齢者に配慮した街づくりを目指すことが、誰もが暮らしやすく、地域特性を生かし個性的で、脱炭素にもつながる災害に備えることのできる街づくりにつながると考える。従来の「再開発」ありきの構想ではなく、根本的に見直していただきたい。</p>

60	<p>杉並区まちづくり基本方針骨子案について 2022.10.17 天沼 ××</p> <p>「ゼロカーボンシティ実現に向けたまちづくり」を掲げて、「みどり豊かな住まいのみやこ」の実現に向けた取り組みを進めていくことに大賛成です。しかしながら駅前開発や道路整備などにおいて、基本的には前計画を踏襲していくのではないかと思われ、上記の取り組みが本当になされるのか疑問です。</p> <p>●基本姿勢の「脱炭素の視点からまちづくりを推進する」ということでは、大事な方向性の一つとして、自動車の往来を限りなく減らしていくことではないかと思いますが、道路整備方針では道路の拡幅、延長など自動車を通す方へ向かっているようです。</p> <p>133号線は、緑の多い静かな住宅街の現存してる住宅と、その宅地に植えられた多くの緑を壊して新たな道を作るという、脱炭素に全く反した行為です。</p> <p>221号線の道路拡張についても、ますます自動車の流れを促すこととなり脱炭素化逆行です。加えてこの地域の住民にとっては、大きな車道に囲まれることで孤立化と交通事故の危険性が高まります。</p> <p>●「地域特性を生かした個性的なまちを創る」ということでは、227号線の高円寺独特の飲み屋、商店街や132号線沿道に並ぶそこにしかない個人店、また西荻駅周辺に集まる飲み屋や商店など、個性的で面白い店が集まっています、区外からも多くの方がやってくる魅力に溢れたまちだと思います。これらの個性豊かな店をつぶして新たにどのような個性を作るのでしょうか？このような個人店を助成していくことこそ個性的なまちづくりになるのではないかと思います。</p> <p>現存する商店、住宅等を取り壊し新たなビル、マンション建設、それこそまとまりある共同建て替えや協力的な土地利用、面的に広がりのある商業・業務機能と共同住宅の複合した生活拠点とは、いわゆるタワーマンション造りを構想していると感じられます。タワマン建設には相当なエネルギーを要して脱炭素から逆行してますし、他地域でも展開しているのと同じようなものをつくって、どこに個性的なまちを見出せるのか疑問です。</p> <p>まちづくりはそもそも、そこで暮らす住民たちが心地よく居られることが大前提にあるべきで、まず住民たちの意見を聞くことから始まると思います</p>
----	--

	<p>が、今回の骨子案では、すでに前区長の方針の下に勝手に進められた駅前開発や道路整備が基本的にはそのまま進める方向であるように思われます。</p> <p>岸本区長が誕生したのは、前区長の住民無視の区政を止めたいという多くの区民の思いがあるからです。なので、まずは全般の計画進行を止めて、時間をかけて住民との話し合いを十分にとることから始めるべきではないでしょうか。</p> <p>最後に個人的な希望として目指したいものの一つに、生産緑地を増やすことです。メキシコシティではすでにそのような取り組みがかなり進んでいるようです。畑や果樹などの土地を増やし、携われる人を増やし、地産地消ができるようになれば「みどり豊かな住まいのみやこ」として胸を張れる自治体になれるのではないかと思います。</p>
61	<p>杉並区まちづくり基本方針（骨子案）についての意見</p> <p>はじめに</p> <p>杉並区が「杉並区まちづくり基本方針（骨子案）」について、住民から意見を募るのは初めてのことだそうです。そのことは評価したいと思います。しかし、10月1日のお知らせで、締め切りが17日。あまりに短かすぎる日数です。後日17日以降でも受け付けるとのお知らせがありました。また、骨子案はネット環境がないと見ることができないことも親切とはいえません。お知らせが掲載された「広報杉並」も全軒配布ではありませんでした。本当に住民の意見を広く取り入れたいと思ったのであれば、もっと工夫が必要だったかと思えます。</p> <p>「概ね20年後の杉並の未来を展望」、「人生100年時代への対応」が目標であれば、今後、もっとじっくり住民と話し合う場を設けていただけると嬉しいです。</p> <p>気になること</p> <p>「都市計画道路を一度立ち止まって検討する」ことを掲げて当選した新区長です。しかし今回の骨子案では、岸本新区長の意見は反映されておらず、都市計画道路は、前区長が進めてきた計画そのままのようです。『地権者と合意形成を図ることを重点として』ではなく、まず、一度立ち止まって検討し、地権者だけでなく近隣住民との対話を重ねることを強く望みます。</p> <p>また、「2050年までにゼロカーボンシティ」をうたっていますが、道路拡幅に加え、「駅前開発、タワーマンションの建設」などを想起される文章がありますが、ゼロカーボンシティの方向性も、わたしたち住民の生活も全く見えてきません。</p> <p>杉並は、それぞれの街で、個性あるまちづくりがすでにされています。そ</p>

	<p>これらの趣のある街並みや、魅力的な商店街や飲み屋街などを、いかに安全面などを考慮し残していくかが重要だと思われます。</p> <p>駅前開発の名のもとに、広い道路が作られ、「個性的な」おなじようなショッピングモールが作られ、「個性的な」企業のチェーン店ばかり入店、、というのにはなにも魅力を感じません（阿佐ヶ谷駅ビル開発で、すでに痛い目に遭っている?!）。</p> <p>杉並らしい、杉並の住民のためのまちづくりを望みたいと思います。</p> <p>今後の提案など</p> <p>ゼロカーボンの観点からも、今後の10年後、20年後を考えると大きな方向転換が必須かと思われます。大量生産、大量消費でなく、なるべく地産地消で、ゴミのコンポストなどもいいですし。防災、減災の観点からも、ご近所付き合いの延長で楽しい防災訓練など、、。また広場や緑地はとても重要になってくると思うのもっと増やせると良いと思います。果樹園や畑を作るのも良いのではないのでしょうか。自転車の活用や車の規制などなど、小さなことをひとつずつ。</p> <p>みどりの植栽につきまして</p> <p>みどり豊かな、、とうたっていますが、どんどん減っているのが現状です。</p> <p>私が住んでいる天沼地区では（他の地区もそうかもしれませんが）、大きなお宅が売りに出されると、今までたくさんの木々があっても、すべて伐採されて一気に更地になります。そこに小さく区画した家が新しく建ちますが、新しい家にはほとんど木は植栽されません。施設などの建物への植栽と合わせて、普通の家の場合も「何か1本、木を植える」などの決まりを作っても良いのではないのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">（2022、10、17 天沼 × ×）</p>
62	<p>必要な道路計画はきちんと進めて頂きたいと考えています。西荻窪は公共のバス路線が、沿道の路上駐車で妨げられている現状であり、公共交通の結節点としての機能を回復するために、道路の拡幅と駅前の交通広場の整備は早急に対策が必要な課題だと考えます。</p> <p>また、高円寺北口やの道路計画は地元と十分な話し合いが必要ですが、中野区の大和町エリアにとって駅へのアクセスに必要な動線であり、区内のみで勝手に議論をクローズさせるべきではありません。環七から中野駅北口への道路計画も同様です。「杉並エゴ」という悪しきレッテルを周辺住民から貼られないよう、責任を持った施策をお願い致します。</p>

63	<p>ご挨拶,</p> <p>2020年に庚申通りに出店しました。</p> <p>高円寺の歩行者に優しい環境は、場所を選択する主な理由です。</p> <p>道路が拡張されたら、私はビジネスを失います。</p> <p>この計画は、高円寺の良い環境を破壊するでしょう。</p> <p>道路拡幅計画は進まないでください。</p> <p>ありがとうございました</p>
64	<p>西荻窪の都市計画道路補助132号の整備について、もう後戻りできないところまで来ているのであれば、せめて道路拡張後に新築/改築される建物のオーナーに対して、いまからでも1F部分を商業施設にするようなインセンティブをつけるなど、西荻北口方面の商店街の賑わいを未来に向けて少しでも維持できるような取り組みを講じてほしいです。</p> <p>地権者にとっても、地域住民にとっても、双方にメリットがある整備は不可能ではないはず。政治の本分は利害対立の調整だと思いますが、単なる調整にとどまらないアウフヘーベンを期待しています。</p> <p>すでに、土地の収用は進行していますが、井の頭通りがそうであったように、無機質な車止めで囲まれたスペースが10~20年もの長きにわたり、無意味かつ景観的にも醜悪な状態で放置される(利用されない)のは本当にもったいないし、その間に、子供は街に愛着を持たないまま大人になって違う地域に移っていく、シニア世代にとってもバリアフリーでも安全ではない整備中の道路を行き来しながらさらに歳を重ねる。それはあまりに残念すぎます。</p> <p>せめて、収容済みのスペースには、緑をたくさん配置し、休憩ができるベンチやちょっとしたテーブル、レンタルサイクルのステーションを増設するなど、今この瞬間に生活している住民のためのベネフィットを提供してほしいと切に願います。そういう努力を積み重ねることが、現在132号の整備に強硬に反対している地権者の方々の理解や協力を得るための最善策だとも思います。遠回りのように見えますが、こういうのが結果的に一番の近道だったりします。</p>



		<p>蛇足ながら、西荻窪にはすでにアンティークショップは数えるほどしか残っていません。それは、このエリアが、アンティークショップが商売として成り立つような賃料のエリアではなくなっているからですが、いまだに西荻＝アンティークの街、というイメージを行政が持っていることが、この地域の実態を理解していない証拠のように思えます。アンティークショップに限らず、西荻窪の代名詞のように言われている個人店も年々減ってきているのが実情です。良い悪いは別として、西荻窪にスターバックスの出店はまだありませんが、スタバができれば、いわゆる西荻らしさは過去のものになる象徴的な出来事になる気がします。くどいようですが、いい悪いは別として。</p>
65		<p>都市計画道路補助 227 号線の整備に関して。反対です。既に長い年月を経て、生活と密着した地域です。車を走らせるより、安全に歩き買物するエリアにしてください。</p>
66		
67		<p><b>【「道路整備方針」について】</b></p> <p>「都市計画道路ありき」「都から 2020(令和 2)年に事業の認可を受けたので実行する責務がある」との前提で話を進めているところに混乱の原因があるように感じます。</p> <p>そもそもこの計画は 1947(昭 22)年に作られたもので、それを 75 年後の今に当てはめようとしても、どうしても無理があります。社会も人も街も、75 年の間に大きく変わっています。「事業の継続性」も必要でしょうが、そればかりでは選挙で岸本区長が誕生した意味がありません。計画の理念は尊重しつつも、「情報公開、対話と理解、ゼロカーボン」をキーワードに、見直す勇気も必要だと思います。</p>
68		<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ都・国等との連携して進める都市計画、道路整備に合わせなければならないのか？フェアレス・シティはどうなったのか？</li> <li>・日本の時代遅れ、高度成長期忘れられない計画、三菱地所など大手が儲かる大規模再開発計画、ニュータウン計画(豊洲など?)、従来型都市開発ではなく、バルセロナのような都市計画、成長社会より成熟社会を目指して欲しい。</li> <li>・徒歩や自転車移動促進賛成。バルセロナとは街の作りが違うので全く同じことはできないと思うが、都市の未来＝方向性をデザイン、車道の使い道を区民が決めるスーパーブロック計画を参考に街づくりができないだろうか？車は公共交通機関、郵便、配送、ゴミ収集車など許可証を持った車は入れても一般車両は入りにくくする。</li> </ul>

・どこもかしこも同じづくり、チェーン店の同じ店が取っ替え引っ替え変わるだけ。新宿、品川、豊洲や月島、有明方面の高層ビル、タワーマンション地帯と低層階の住宅地を同じにしないで欲しい。シンガポールやドバイは上へ上へと伸びているがより速く、より高くなる時代ではない。

<各地区>

ー西荻窪ー

・道路幅を広げて高層化を可能にしタワーマンションを作るのでは？という話を聞くが、京都市のように杉並区で高さ制限を作る。高さとは関係ないが京都は古くからある小学校の建物を利用しリノベーションしてホテルを建設した。ホテルはいらないが杉並区もできるだけリノベーションして住宅、お店を使うようにして欲しい。安く借りられて若い人たちもお店を出せるように。チェーン店ではなく個性的な店、個人店を守ろう！増やそう！駅前の飲み屋街、商店、喫茶店も守る！

・善福寺2丁目の四つ辻の辺りに残っていると思うが、同潤会が手がけた西荻住宅の佇まいが残る(ほぼそのままの区画に家が並び、児童遊園も残っているらしい)貴重な場所なので壊されてなければ文化財地区として保護して欲しい。

・132号は女子大通りから青梅街道に抜けるセブンイレブンの前が渋滞するので、セブンイレブンの前の道を広げる。西荻側に曲がる角にある人気の花屋兼クッキー屋立ち退く必要なし。132号は交通量は多くないので東京都の計画ほど車道を広げなくて良いと思う。緊急自動車を通す為に必要なら空き地になった所、車道が広い所を広げて車を寄せられるようにする。

・居住者。お店はそのまま残す。広げられる所だけ広げる。東京都の都市計画通りの道が出来てしまったら車道は今までどおりの広さにし自転車、歩行者をメインにした道にする。毎週、銀座のように歩行者天国もやってみる。

・ライフが出来て一部広くなったので震災、火災など緊急の時はライフの駐車場に車を入れさせてもらう。近辺にはタイムズなど駐車場が複数あるのでそこも利用させてもらえるよう杉並区が提携する。ライフは自転車置き場も多く、バスも手前で停まるのでできるだけ自家用車は使わないようにしてもらう。駐車場の空間もったいないと思うが、できれば何かあった時、人々も逃げこめる場所、被災した時、食料など配給できる場所としても利用できる

	<p>よう杉並区からお願いして欲しい。</p> <p>—荻窪—  ・ほかの地区のような道路、再開発問題はないようなので駅ビルに負けずに残っているお店も含め、今の状態を守って欲しい。駅前の中野みたいにして欲しくない。高層ビルはいらない。</p> <p>—阿佐ヶ谷—  ・誰もが暮らしやすいと緑豊かなとか魅力あふれる地域と言いながら、阿佐ヶ谷駅前の屋敷は壊す、木は切り倒す、長く住んでる人たちを追いやって、善福寺緑地帯も壊す？防災っていつて都和連携して高さ制限緩和？言ってることとやってることが違う。飲み屋街、商店街を守ろう、緑も住宅地も守ろう！</p> <p>—高円寺—  ・中野から環7に抜ける221号、無電柱化の為に道路拡幅？学校に通う子供の安全性は考えないのか？中野から一般車両は通り抜けできないようにして歩行者、自転車優先の道にする。中野のマンション建設に合わせる必要はない。</p> <p>・賑わいのある高円寺の顔、顔純情商店街を227号線でぶち抜くとは...都の担当者はこの商店街を知らないのだろうか？商店街の通りは車進入禁止(緊急車両以外)でも良いのではないか？</p> <p>・ちょっと下町のような雰囲気を持ち、個性豊かで活気があり、若者を引き寄せ、商店も多く残る高円寺はあまり車が通らないから商店街のにぎわっているのだと思う。</p> <p>・ローマ帝国ではないのだから全ての道は幹線道路につなげなくて良い。</p>
69	<p>まちづくり基本方針（都市計画マスタープラン）の骨子案に対する意見  私は西荻窪の補助132号線の沿道の住人です。この4年間、道路拡張問題について、ずっと考え、行動してきました。  骨子案についてもその視点から話をさせていただきます。</p> <p>基本構想準備段階の時も、今回もそうですが</p>

	<p>「都市計画道路の整備を、国、都等と連携して進めます」という、一行に納得がいきません。</p> <p>「進める」のではなく、立ち止まって再度見直し、「道路拡張ありき」から街づくりを考えるのではなく、そこで暮らす住民がどんな街を望んでいるのか、住民と専門家、区職員も交え、拡張計画を中止することも含めての、本気の話し合いをしていくことを要望してきました。</p> <p>納得のいかない理由としては</p> <p>①その必要性</p> <p>* 真の防災にならない。杉並区の他のどの計画道路でも防災にならない課題を孕んでいる。</p> <p>132号線の場合は、青梅街道と五日市街道を結ぶ避難道路でありながら、駅南口10m先の神明道路でなぜか左折する。工事もそこでストップし、次の工事がいつ始まるかわからないので、左折した場所（通学路でもある）は大きなS字クランクとなり、拡張した道路に交通車両が増える中、危険な道路となる。また、杉並区内のすでに4カ所で進行しつつあるどの道路にも言えることだが、例えば132号線での工事は当初30年以上かかると言われていた。大きなクレーンを吊り上げたり、トラックが出入りする中「いつ来るかわからない震災」が来てしまったら、大きな被害が出ることが予想される。</p> <p>* 車や人が減少している現社会では、高速道路等を壊して人々が集うコミュニケーションの場を広く設ける国が増えている。日本国内でも国土交通省の方針で「見直し・中止」が進む中、東京都だけが道路計画に邁進している。</p> <p>②法的根拠</p> <p>* 旧都市計画法での立案なので、日本国憲法にある、個人の財産権の補償や適正手続きが全く行われていない。さらに新都市計画法で定められている聴聞、話し合い、意見提出、審議会などがなく、70年以上を経て突然持ち上がったこの計画に、関連住民の生活や人生が脅かされている。基本構想の「誰も取り残さない」という一文にすでに違反している。</p> <p>③街づくり</p> <p>* 広い道路と高層ビルが作られることによって、大きな街壊しが行われ、132号線が従来持っていた個性的な店、子どもも老人も安心して行き来できる道路、商店街が持ち続けてきた地域連携が失われていく。</p> <p>さらに、</p> <p>④ゼロカーボンシティを宣言している自治体として、その事実を棚上げして</p>
--	--

	<p>の道路拡張・再開発などは考えられない。工事によるCO2の検証が必要である。</p> <p>以上のことから、地元132号線はもちろん、進行しつつある優先整備道路133号線、221号線、227号線の道路拡張計画を、一度立ち止まって見なおすべきだと考えます。</p> <p>道路整備方針の頁の小さな地図をよくみると、道路本数が19本に増えていて、これには怒りを覚えざるを得ません。「大きな道路と大きな箱ものを作る」という従来の固定観念から離れましょう。本当に防災を考えるのなら、都市計画で街壊しをすることで防災を進めるのではなく、今あるものを不燃建材などで強化し、再構築し、震災時の消火活動や救助体制を、商店街や住人などのコミュニケーションを深めることによってより堅固なものにしていく、其の為の話し合いを始めましょう。</p> <p>住民の声が反映され、区長と区のスタッフと住民が一緒になって歩いていく姿を、ぜひ杉並区から発信していきたいと、希望をふくらませています。</p> <p>最後になりますが、この意見募集は、新区長が掲げている「住民の意見を聞いていく」ことを、道路問題について初めて公に実施したものです。区長のもとに自分の意見を届けられる機会なので、実施を心待ちにしていました。しかしながら、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報での知らせ方がわかりづらかったこと、</li> <li>・意見提出期間が短いこと、</li> <li>・名前住所を知らせないことで不正（複数回答を寄せるなど）があったとしてもわかりづらい、などの問題がありました。</li> </ul> <p>今行われている「区民と区長の対話集会」も、参加対象者が補助132号線関係権利者、西荻窪駅周辺 町会、自治会長、商店会長と大人数なのに対し、参加人数はたった20名、しかも（オンライン形式の参加もない）では、「皆の話を聞く」という参加者数にはとうてい到達しません。いずれも12月にまとめて、策提案を出すために、急がれているのかと思いますが、まとめる時期を1~2か月と限定せず、意見の方は提出時期を延期し、対話集会も回数を増やすことで、より多くの住民が意見を述べるができるように、拙速せずきちんと取り組んでいくことを求めます。</p>
70	<p>道路整備方針について明確に反対します。阿佐ヶ谷地域（成田東地区）の補助133号線は地域住民の理解を全く得られていません。例え事業化したとしても、目標年次の令和12年度どころか、20年経っても道路は建設できないでしょう。住民の反対を押し切り建設計画を進めるのであれば、強制収用をしない限り実現は困難なはずです。そのようなことを杉並区は本当に行う</p>

		<p>気があるのでしょうか。他の優先整備路線についても、地域住民の理解が得られていないものが多数あるのではないのでしょうか？ゼロカーボンシティを目指す点からも、二酸化炭素の排出を増やし、交通量が増える幹線道路の整備は全面的に見直すべきです。防災対策として有効だという説明についても、何メートルの道路が延焼遮断の役割を果たすのかなどについて、再度検証が必要ではないのでしょうか。住民の声を主体に「どのような地域、まちづくりを行うのか」について再度議論が必要です。まちづくりの基本方針は全面的に見直しが必要です。実現性のない大型開発計画は税金と時間と労力の無駄です。将来の土地利用の図はわかりにくく、自分が暮らす地域でどのような計画があるのか理解できません。</p>
71		<p>西荻窪地域の計画について都市計画道路補助 132 号線の整備は反対です。住民の暮らしや商店街を守ることを優先にしてほしいです。</p> <p>またユニバーサルデザインの街づくりに関して、ベンチの設置もお願いします。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>
72		<p>補助 133 号計画は反対です。環状 7 号線・8 号線の単なる抜け道になるだけで、杉並の静かな環境には馴染みません。今回の計画が実施された場合、今後は杉並区内でも有数の善福寺川緑地公園の環境破壊にも繋がっていきます。住環境及び自然環境を犠牲にしてまでして、杉並区民が得る利益とは一体何があるのでしょうか。</p> <p>道路の必要性も、単なるきれいごとのみで資料からは全く読み取れません。</p>
73		<p>脱カーボンを区政の骨子の一つにしたことはとても良いと思いました。</p> <p>高円寺、西荻窪駅前の道路拡張に関しての懸案に代表される各エリアに伴う問題は、骨子の大枠だけ見ても何も把握できないので、より詳細な情報公開が（特に住民の側からの問題点）必須かと思いました。</p> <p>70 余年前の道路拡張計画がなぜ現在有効とされ、それに基づいた計画が都によって認可されたのか、詳しい説明も無く現状で既成事実として推し進められることには到底納得できるものではありません。</p> <p>大義名分としては批判の余地のない防災というお題目のもとに、そのエリア独特の歴史やコミュニティーを分断するような行為を、すでに決まったことだからとゴリ押しするような前区長時代のやり方は批判されて当然だと思います。</p> <p>とても個人的な感想ですが、地域独特の個性を大切にしながらの変革と必ず謳われますが、現実には画一的で表面的な、どこかの広告代理店の思いつきのような薄っぺらな商業施設として収まっているケースが多いと感じます。</p> <p>正直、もっともっときめの細かいデリケートな判断が必要なのではと感じてしまいます。</p>

74	<p>S N Sなどを拝見していますと、杉並区民の中には新しい骨子案に対し戸惑いをお持ちの方もいるように拝察いたします。その原因は、新しい骨子案が前区長の作成した骨子案を基本的に踏襲しているところにあると思います。今回、僅差ながらも全く無名の新人候補が岩盤支持層を有する前区長を破り、区長に当選できたのは前区長が推し進める道路整備に対して否を突き付け、阻止してくれるという期待がベースにあるように思います。つまり各地区の道路整備の見直しが多くの方が期待するところであり、杉並区の1丁目1番地の課題であると思います。さらに言うと、道路整備それ自体というよりも、その先にある前区長と癒着している利権業者、利権団体、さらには議会内親派の姿勢にNOを突き付けることができるかどうか、この道路整備事業見直しの本質であると思います。この前区長と利権団体との癒着は、ある意味日本を覆っている病理の縮図だと思えます。上に立つ者が、その権力と権限に物を言わせ、本来であれば国民、区民に適切に分配すべき税金を、一部の者たちが我が物として奪い合い、その結果善良な国民や区民が疲弊し蚊帳の外に置かれる。それが今の日本の紛れもない姿です。いまそれに対して杉並区は自治体としてどう答えるのかが突き付けられているのではないのでしょうか。そこに明確に否・NOを突き付けることこそが、杉並区の立ち位置であり、区民の大多数の意見だと信じます。今回、このような形で骨子案に対して広く区民の意見を募る、それ自体は悪いことではなく、区民の声を聴くという新区長の姿勢には多くの区民が共感するところです。しかし、今回の場合は区民の意見を丁寧に汲み上げていくよりも、岸本区長として前区長と利権団体との癒着、それによる道路拡張整備事業に対してどう考えるのか、NOを突き付けるのか否かといった、岸本区長の意志と覚悟を示さなくてはならないのかもしれません。杉並区政といういままで接点がなかった場に、頼る人も力になってくれる人も限られる状況で単身乗り込まれた岸本区長のご苦勞は想像を絶するものだともいます。たぶん想像されていたよりも100倍も大変なのではと推察いたします。一方の前区長の支持者や議会の親派は、あの手この手を使って岸本区長を引きずり降ろそうと画策し、あわよくば以前のような自分勝手にできる区政に戻そうと虎視眈々狙っていると思います。だからこそ岸本区長には覚悟を決め、頑張ってくださいたいのです。言うは易く行うは難しであることは重々承知の上でお願いしたいのです。それは私だけではなく、多くの区民も同じであると思います。いま日本に絶対に必要なのが、国民に顔が向いている政治です。まずは杉並区がそれを実現し魁（さきがけ）となり、やがて他の自治体に伝播し、その連帯が大きな力となって地方から国を変えていく。そんなことが実現できればどんなに素晴らしでしょうか。区民ひいては日本、日本国民のために頑張ってください。応援しております。</p>
----	---

75		<p>高円寺に都市開発は必要ありません。今のままで、十分に暮らしやすい街です。親の代から 100 年以上高円寺で暮らしています。</p> <p>高円寺 221 号線に新しくオープンした ラッドブロスカフェ もすごく人気です。</p> <p>お願いします。もっと住民の声を聞いてください。私はもう若くはないですが、死ぬ最期の最期まで高円寺の今の家で暮らしたいんです。</p> <p>もし勝手に道路開発を進めるようでしたら、××××高円寺の今住んでいる家で成仏させてください。</p> <p>お願いします。お願いします。本当にお願ひします。</p>
76		<p>123 号線を広くすることに反対します。プラタナスの街路樹が素敵な道です。並ぶ店も入ってみたくなる唯一無二の店ばかりです。道路を広くすることは、街と文化を壊すことです。</p>
77		<p>杉並区のゴミの処理方法に興味があります。</p> <p>こまめにプラゴミを分別していると、1 週間で驚く量になりますが、これはどこまでリサイクルされているのでしょうか？我が家は食材のトレーや袋までぎっと洗って出していますが、それらを更に選別し、洗浄して再利用するとすると、それなりの手間がかかると思われます。全て溶解して再生プラスチックを作るみたいな事をしてるのでしょうか？プラスチックの再生素材ってあんまり聞きませんがあるのでしょうか。</p> <p>ひょっとして雑多なものは可燃ゴミとして一気に燃やしてしまった方が効率的でむしろ環境負荷が少ない気がします。どうなのでしょう？</p> <p>あとペットボトルも毎週集積場にはそれなりの量が集まっていますが、実際どれくらい、どのようにリサイクルされているのでしょうか？</p> <p>リサイクルが本当にサステナブルと言えるものなら分別と回収に力を入れるべきですが、そもそもリサイクルが大した量でない、言い訳程度のものでしかないとなると、その事実をきちんと周知して、プラスチックの使用自体を減らす事が重要だと思います。</p> <p>自治体によって分別方法が違う理由も知りたいですし、ただ決まってるから分別して出すというのでは問題意識がひろがらないと思います。</p> <p>ゴミがどのように処理され活用されているのか、本当に環境負荷を減らすにはどうすべきかを知りたいです。</p>
78		<p>我が家では自作した太陽光発電を使っています。</p> <p>パネル 2 枚だけなので、大した発電量ではないのですが、それでも洗濯と夜の照明（LED）、PC やスマホの充電はそれでまかなえていますし、非常時の備えにはなっていると思います。</p> <p>家の電力全てをまかない、あまった分は売電するというような規模になると</p>



	<p>お金もかかり、なかなか自力では大変ですが、小規模のものは意外と簡単に実現できます。</p> <p>地域の電気屋さん<small>に</small>小規模太陽光発電キットを開発してもらい、区で推奨し助成するということは出来ないでしょうか？</p>
79	<p>iQOS を始めとする、タバコ全般の販売禁止をお願いします。</p> <p>iQOS は特化して異常です！      新型タバコと呼ばれる、glo、プルームテック、ベイプなども酷いです。</p> <p>環境省が定める TVOC や HCHO の数値より、      遥かに大量のホルムアルデヒドが放出されています。</p> <p>こちらの「かえるけろけろさん」が記録している数値と同じ状況が、各マンションやアパートでも多発して起きています。</p> <p><a href="https://twitter.com/kanetsuiya?s=21&amp;t=4aEZAJnnMTwhGpaNEzd2YQ">https://twitter.com/kanetsuiya?s=21&amp;t=4aEZAJnnMTwhGpaNEzd2YQ</a></p> <p>私の家でも同じ現象が起きています。      他の家庭でも、気づいて無いだけで、同じことが起きていると思います！</p> <p>とにかく iQOS 1 本喫煙されると、TVOC が <math>500 \mu\text{g}/\text{m}^3 \sim 9999 \mu\text{g}/\text{m}^3</math>、      まで上がります。</p> <p>1 度きちんと調べてください。</p> <p>区役所に喫煙所があるなら、そこで測定してみてください。</p> <p>私の空気測定が 9,999 が MAX で、それ以外計測できませんが、それ以上測定できるものがあれば、もっと上がっていてもおかしくない程です。</p> <p>最近それを言われているせいか、空気測定器では測れない有毒物質が出ています。      TVOC、HCHO、PM2.5 以外の物質です。</p> <p>是非、特別機関へ詳細な空気の測定をお願いします！</p> <p>非喫煙者と喫煙者は同じ建物で一緒に住むことはできません。</p>

新型タバコのエアゾル（副流煙）は、花粉よりも小さく、細胞よりも小さく、ウイルスと同じ大きさなので、同じ建物内で喫煙されると、どこからでも侵入してきました。塞ぎきることは出来ません。

他の国では、販売中止のものを日本で売らないでください。

アメリカで iQOS は販売されていません。その売れなかったものを日本で売っているのです。捨てるのはもったいから、日本は廃棄処分と新型タバコの実験場になりました。

何故、私がこんなことを言うかという、東京の集合住宅で、下階住人による iQOS（加熱式タバコ）の受動喫煙により、化学物質過敏症を発症したからです。

その後、1年に5回の引っ越しをしました。そのうち2件は、【敷地内電子タバコ加熱式タバコも禁止の禁煙物件】でした。

しかしそこにも隠れて喫煙する喫煙者が必ずいて、苦しめられてきました。

都内に完全に管理されている【禁煙物件】がまだありません。

喫煙者はどんなところにも住めます。しかし私達のような人間には、禁煙物件しかないのです。

禁煙物件にしか、住めないのです。

電子タバコ、加熱式タバコになってからは、完全に喫煙者と非喫煙者は共存できなくなりました。

喫煙者がどこに住んでいるかが、分かれば、私達は無駄な引っ越しもしなくて住むのです。

	<p>喫煙者（タスポ）は、保険証に紐付ければ良いと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 何の銘柄を何箱 1 日吸ったか</li><li>・ それにより何年後に病気を発症したか</li><li>・ 何年間、何の薬を投与されたか</li><li>・ その後、何年で死亡したのか</li></ul> <p>フィリップ・モリスに高く欲しがるデータが出来上がると思います。</p> <p>その後のエビデンスに繋がります。</p> <p>JT との癒着、天下り先、政治的背景など、</p> <p>とにかく 1 度調査をお願いします！ これは大変なことです。 日本の全ての空気の問題になってます。</p> <p>そして化学物質過敏症が増えています。 化学物質過敏症は、国民病になります。</p> <p>新型タバコが出てきたなら、その対応も新型にアップデートするべきではないでしょうか。</p> <p>例えば、駅などの公衆トイレ、特に多機能トイレは喫煙者の喫煙所にされています。</p> <p>彼らは新型タバコが水蒸気なので、火災警報器が作動しないことを知っているから、トイレ喫煙を平然と出来るのです。</p> <p>火災警報器ではなく、TVOC に反応する警報器を美術館や公共施設、公衆トイレに設置すれば、喫煙者は減ります。</p> <p>東京は 23 区もあるのに、喫煙者が居ない区がひとつもありません。</p> <p>杉並区をモデル禁煙区にしてみませんか？</p>
--	--

		建物だけ禁煙物件にしても意味がないのです。 そのエリア全体を禁煙にしないと。
80		<p>区の再開発についての本当の現状が知りたいです。 ざっくりした印象ですと、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 阿佐ヶ谷北の小学校、けやき屋敷、河北病院の移動再開発は、もう進んでしまっていて、意義もあるようだけど、不透明な事が多すぎる。あれだけの樹を切ってしまったことは反省すべき。</li> <li>2. 西荻北の道路拡幅はある程度進んでいるが、強く反対している人もいるから、既に拡幅工事が進んでいる場所を有効に使える新しいプランを考えるべき。</li> <li>3. 高円寺商店街のはとりあえず反対多数で止まっている？再開発の必要も無い？</li> <li>4. 阿佐ヶ谷南の道路はほとんど進んでいないし、あまりにも無茶な計画的なので、止めてしまって問題ない。</li> </ol> <p>みたいに理解していますが、それぞれについて、現状を把握、周知して欲しいです。 なんのための計画か、どの程度進んでいるのか、賛成する方、反対する方の比率、それぞれの理由などを特集する冊子を一冊作るくらいの分析をして欲しいです。</p> <p>そのためにはやはり一旦立ち止まって考えることが重要だと思います。</p>
81		<p>ずーっと杉並区に住み会社経営をさせて 頂いております。はじめて意見を送りましょうと言われ嬉しくありがたかったですね。杉並区と言うからには緑がたくさん 環境良くゴミを散らかさない町作りをと願ってます</p>
82		<p>「利便性の向上」「商業の活性化」など都合よく聞こえる言葉の背後にある真実は「これまでその土地で丁寧に住らしてきた住民が、大切に守ってきた自分たちの街並みの破壊」です。区民税を納めているのは地域に住らす住民です。住民を無視しないでください。駅周辺地域の再開発には断固反対です。区民が汗水たらして働いて納めた税金を「土建業界に流す」という無駄遣い行為以外の何ものでもないと思います。一度失われた街並みは二度と戻ってきません。住民を、街並みを、地域を第一に考える行政をお願いします。</p>
83		<p>道路拡張、再開発については多くの方々が反対されています。反対住民の声を聴いたうえで、いったん保留とできないでしょうか。事業認可が降りた後</p>

		でも変えられた事例があると聞きました。前区長時代、全然話し合いにならなかったとも聞いています。特に終戦後まもない時期の計画をいま押し進めなくてもよいのでは。時代は変化しています。ゼロカーボンの観点からも、必要以上の再開発はやめてほしいです。杉並区から変えていきたい。
84		<p>全体的に「緑ゆたか」「杉並らしい」「しゃれた」などの曖昧な文言なので、いかようにも解釈できてしまう部分があるなと感じました。</p> <p>一体どの程度が「緑ゆたか」なのか。再開発をしても少々植樹をすれば「緑ゆたか」と言えるかもしれません。</p> <p>私は中野区寄りの和田エリア在住で、8年前までは南中野地域に暮らしていたので中野区の区政も見聞きしてきました。中野区は、現在駅前再開発でプチ新宿ともいえる高層ビル群が作られ始めており、企業誘致で潤った区財政の元、統廃合された学校校舎や区民事務所などが綺麗に整備されています。いいと思う反面、これは区面積が小さいからこそできること（縦に空間を使う）でもあると思います。</p> <p>杉並区は、区面積が広く宅地部分が広いのもあり、中野区のような開発のやり方は適切ではないかなと思います。</p> <p>大きな公園が多い反面、広いためにスポーツセンターや図書館などへのアクセスがよくありません。科学館がないのも、子育て世帯としては残念に思います。小規模でも、子育てのハブになる施設がたくさんあり、自主的に機能できるよう潤沢な予算がかけられていたらいいなと感じています。</p> <p>今後少子化が進むにあたり、高層建物にどれだけの需要があるのか。長い目で見れば、子育て環境が充実している杉並というまちづくりをしていただきたいです。子育て施設の空白地帯を作らないまちづくりを希望します。</p> <p>駅前開発については、拙速に行く必要はなく、個人商店や地域住民の声を丁寧に聞き取っていただき、地域の声第一で進めていただけたらと思います。</p>
85		高円寺の魅力である小さな個人店や商店街を無くさず、可能な範囲のみで整備をしてもらいたいです。高円寺の雑多な文化カルチャーを残すためにも大きな道路は作らず、裏路地にも入れる消防車を増やしたり、再開発の必要がない、既に盛えている純情商店街と庚申通り商店街を残してください。よろしくをお願いします！
86		<p>柔軟剤、合成洗剤の匂いに困っています。</p> <p><b>【香害】</b>です。</p> <p>そしてこれは匂いだけの問題ではありません。</p>

P2.5、ギ酸、ホルムアルデヒド、カチオンチャネル阻害剤、マイクロプラスチック、アクリルアミド、接着剤。

吸入毒性のあるものが沢山、いつも吸い込むものに入っているのです。

空気測定器を購入すれば、家庭でもすぐにホルムアルデヒドの数値は測ることができました。

柔軟剤で洗った衣服からは、330ppm のホルムアルデヒドが検出されました。

環境省の定めるホルムアルデヒドの基準値は、0.08ppm 以下とされています。??病院など待合室で待っている時間に、匂いによって別の体調不良になります。??せめて医療従事者や学校内だけでも、制服や身につけるものは、石鹼洗剤で洗濯したものを着用することを義務化して欲しいです。??お酢やクエン酸、重曹だけでも、充分 殺菌効果があり、汚れが落ちます!??病院に、香りは必要無いと思います。

学校の教室が毒ガス室になっていると聞いています。

具合が悪くなり、勉強ができなくなる子が増えています。??そして医療従事者でも知らない、でもすぐに調べれば分かること、柔軟剤、合成洗剤の危険性を知ってください。?勉強してください。??柔軟剤は、マイクロカプセルに閉じ込められたマイクロプラスチックの香料です。?呼吸する度、マイクロカプセルを吸い込み、マイクロカプセルは肺の中で弾け飛び、マイクロプラスチックを放出します。??マイクロプラスチックは、ウイルスよりも微粒子で、レントゲンでも映りません。??肺に入ったマイクロプラスチックは、体外に出すことは不可能です。?肺の中でどんどん蓄積されていきます。??最近、ヒトの血液の中から、マイクロプラスチックが発見された事例をご存知でしょうか。??赤ちゃんのうちから柔軟剤のマイクロプラスチックを吸わされた子供たちは、30才まで生きられないと言われていています。??また柔軟剤、合成洗剤により、発達障害になる子供が増えています。?奇声あげたり、イライラしたり、急に暴れだしたりします。??合成洗剤は、元々 石鹼洗剤よりも洗浄力が弱かったので、売れませんでした。??汚れが落ちないなら、上から塗りつぶしてしまおう!と蛍光漂白剤で、汚れの上から白を付着させることで、汚れが落ちたように見せたり、色を鮮やかに見せて、汚れが落ちたように錯覚させます。??実際には、全く汚れが落ちていないため、むしろその接着剤のような成分が付着し、余計な汚れが上乘せされたせいで、それが汗や雨で湿気を帯びた際には、皮膚に浸透し、アトピーや汗疹のよう

	<p>       になって皮膚を荒れさせます。??洗濯槽のカビや汚れが落ちるといった、CMは全く逆のことを堂々としています。??カビや汚れの餌となっているのは、実は繊維に付着し続けている、柔軟剤、合成洗剤の成分なのです。??全てCMの洗脳です。?気づいて無いと思いますが、今、TV CMで1番多いのは、柔軟剤と合成洗剤のCMです。?数年前までは、携帯や車のCMが主流でした。??毎日同じCMを流すことで、柔軟剤など、不必要なものを絶対に必要と洗脳させています。??そして朝の情報番組のスポンサーは、全て大手3社の洗剤会社に乗っ取られています。?そのため、情報番組でも「香害」や柔軟剤、合成洗剤の被害について、報道することができません。??コロナで神経質になるのは、分かりますが、コロナな菌では無く、ウイルスなので、除菌・抗菌などと謳っている洗剤では全く落ちないので、むしろ塩やお酢が効果的であり、食べれるもので洗濯することによって、赤ちゃんから大人まで安心安全なものになります。??また下水も汚さず、環境破壊にもなりません。SDGsにも貢献できます。??重曹+クエン酸=柔軟剤効果?お酢+塩=殺菌効果??是非、正しい知識と騙されない賢明さを持ってください。??「香害」で苦しんでいる人が沢山います。??厚生労働省、環境省、消費者庁、文部科学省、経済産業省の5省庁が作成したポスターを病院に掲示してください。??心より、ご配慮お願い申し上げます。??  <b>【5省庁ポスター】</b>?<a href="https://nishoren.net/new-information/16472">https://nishoren.net/new-information/16472</a>??<b>【消費者連盟分かりやすいポスター】</b>?<a href="https://nishoren.net/new-information/12887">https://nishoren.net/new-information/12887</a> </p>
87	<p>       脱炭素を目指すまちづくりには賛成です。ただ、その実現に向けて、さまざまな要素を同時に進めていくのだと思いますが、住んでいるものにとっては、優先順位があるように感じます。最も気になり、すぐにでも進めていただきたいのが、防災・減災です。木造密集地域なので、災害時の火災や水害に対する対策は、防災訓練だけでは足りないと感じています。消防車が入りにくかったり延焼の危険が高いエリアに、小型高性能のモビリティ型災害救助車や消火ができる車両を配備したり、防火装置を多めに設置するなど、新しい知見や民間の協力も仰いで、早急に対策をたてていただけると、安心して生活できると思います。また、子ども食堂の活動は街づくりの上で、考えていただきたいことです。本来、こうしたことがなく生活できるのがベストですが、貧困、母子家庭、子供の成長に対して、街づくりの中でも、大きな意味合いがあるのではないかと考えています。家庭を図書館でオープンしていたり、たちより、遊べて地域で子供たちの未来を大切にしていけるようなビジョンもぜひ、方針にいられていただけると良いと思います。一方逆に、景観や土地の価値の向上は、現時点ですでに魅力を感じて生活しているものからすると、あとまわしにして大丈夫な項目だと思います。先日の陥没道路など     </p>

	<p>を考えると、インフラの整備やメンテナンスは十分やっていただきたいですが、阿佐ヶ谷のけやき屋敷の開発や杉一小学校移転、かなり過去の道路整備がそのままなされるような状況は悲しい気持ちになります。できるだけ現状を大事にしながら、大きなビルを建てたり拠点整備ではなく、路地や、昔ながらの古いもの、小さいものを大事に残し生かしながら、脱炭素化や、進めたいと感じます。こうした形でいろいろな意見をオープンに聞いていただけるのはとても良い取り組みだと思います。今後とも、杉並で快適に生活していけるよう、ぜひ、よろしくお願いいたします。</p>
88	<p>ゼロカーボンを目指すとなっていますが、地方と連携をして例えば、杉林を伐採し燃料や資材にする（杉の木を燃やしたとしても計算上二酸化炭素はゼロ）これと植林を行えばゼロカーボンを超える実績が残せる。 杉の植林やサマースクール等も連携すれば子育てや教育関係も対応可能と思われる。</p>
89	<p>主要道路に面した住宅街の狭い道などは思い切って車両走行不可地区にし、歩行者と自転車専用道路にするといった案も検討していただきたいです。通り抜けなどで狭い道路を車両が飛ばして入ってくる事があるので通学路も子供を安心して歩かせられません。警察に依頼して時々道路に立って取り締まりしていただいていますが一向に減りません。（下井草一丁目南の信号付近） 自転車での駐輪場の整備はただでさえ追いついておらず結果放置自転車などが出ているので駅前に限らず人通りの多い箇所の自転車駐輪場の整備を進めていただきたいです。</p>
90	<p>いつもお世話になっております 区長の高い建物が少ない空 を守りたいことを聞いて 岸本区長誕生を応援したいと思っています 西荻窪補助 132 号線について 何も知らないまま 計画がどんどん進められ 住民の意見をちゃんと聞かず見直しもしようとせず 工事が進んでいる事に疑問を持ちます 何を急いでやり始めたのでしょうか？ 何かあるんですか？ 1 日緊急車両が何台通りますか？ 調べて 1 年間のデータを下さい この短い距離の渋滞が何時間続いていますか？ 見た事ありません あるのでしょうか？ 1 年間のデータを下さい 30 年以上 駅から 10 分以内に住んでいますが 沿道で火災が発生したのを見た事ありません 1 年間のデータを下さい 道を広げて高い建物を建てる事は 空を守ってはいません 災害が発生したら 緊急車両は大通りで止まってしまって そもそもこちらの道には来てもらえないでしょうね 自治会の消防訓練を強化する事に力を入れた方</p>



	<p>が よっぽど効果があると思います      拡張する事によって 交通量が増え スピードも出て 事故につながるほう      がよっぽど心配ですよ      これから人口がどんどん減ってきて 広い道路よりも      巨額な税金を もっと身近な困っている人達に 使ってもらいたいです      西荻窪の良さを残すという選択もあっていいんじゃないですか      突き抜けていない道路だからこそ スピードも出ないゆったりした街を残す      べきだと思います      何十年も進んでいなかったのですから この機会に意見交換をたくさん吸い      上げて 良い方法を住民主催で考えていったらいいと思います      よろしくをお願いします</p>
91	<p>具体的にこう変える、こんな風になる、というスケッチ・イメージ画がない      と、一般の人間には想像出来ません。となると、現状にさして不満がある訳      ではない身としては、反対せざるを得ません。      という事で、西荻窪駅周辺の整備や、132号線の拡張には反対します。</p>
92	<p>杉並で33年ほど仕事をし、阿佐ヶ谷に住んで20年になります。その前は高      円寺10年ほど住んでいました。      中杉通りの街路樹はお気に入りですが、景観が悪いのが残念です。      阿佐ヶ谷駅から区庁舎までの間、歩く人の割に歩道は狭く、路肩駐車は危険      ですし、せっかくの街路樹を台無しにしています。      いつ駐車中の車のドアが開くかと危険を感じながら自転車を走らせていま      す。        杉並第一小学校の北側の道路は狭く、      人と自動車と自転車が譲り合わない行き交えません。        早稲田通りから阿佐ヶ谷駅前に繋がっている為交通量はかなりあります。河      北病院の裏手はカーブになっていて見通しが遮られるので慎重に行き交う状      況です。      子供と手をつないで歩く事や、車椅子が通るなどは難しいです。        ゼロカーボンと共にノーマライゼーション      車椅子がゆっくり通れるまち杉並のまちづくりの基本になれば、みんなにや      さしい街になりますね。        とにかく車が多く、歩行者優先は忘れられている現状を少しでも改善した      いです。</p>

現在建設中の河北病院の元の屋敷林が無くなった事は本当に残念で通るたびに胸が痛む思いです。屋敷林を活かしてみどりの空間に出来ればどんなに素敵だったか。

阿佐ヶ谷区民センターですが、建設費と実物は見合うものなのでしょうか。安普請な建物に感じてしまいます。

屋上は夏は暑くて居られません。広場も木がわずかで暑さを感じるスペースですし、遊具はプラスチックで安普請を感じさせる一因です。プラスチックの遊具が設置された時、仮置された物と思ってましたがそうではないとわかった時は驚き情けなさでガッカリしました。

残念ながらゆったり遊ばせたり、のんびり滞在したい所ではありません。

芸術を感じるスペースと図書コーナーがあればと願っています。

他の公園の遊具もプラスチックはやめて欲しいです。

ゆうゆう館や他の施設の貸し出し時間の設定おかしいです。高い短い!おかしいです。

以前の設定に戻してください。

阿佐ヶ谷周辺は、出かけたくなる街ではなく、所用を済ませなければならないから出かける街だと思い暮らしています。

わたしは阿佐ヶ谷北2丁目に住んでいます。近所に天沼一丁目児童遊園があります。家一軒分の大きさですが利用している人はほぼほぼ見かけません。遊具もなく公衆トイレと水道、ベンチがあるのみです。

類焼を防ぐスペースにもならないと思うのですが、これでいいのか?!と気になっています。

中央図書館はリノベーションがされ、となりの読書の森公園と合わせて、たくさんの利用者が思い思いに過ごすスペースになっています。

春には桜やコブシが咲き、保存されてきたたくさんの木々が夏の暑さを和らげ日影をつくります。初秋の夕方には耳が痛いほど虫が鳴き、今駐輪場には銀杏が落ち、もうすぐ桂の木が色づく甘い香りを漂わせます。朝散歩に出かけるお気に入りの所です。

中央図書館の近くに住みたいと今の場所に引っ越しましたが、正解でした。

「何万人の居住地域には何 ha のみどりがなければならない」という条例があったらいいですね。

		<p>地域防災の第一歩はご近似のつながりですね。町会でスタンドパイプの使い方の実演があり、興味があっので参加しました。女性では無理ですし男性でも難しい物でしたが、近所の方々と協力体制を確認する時間になりました。非常時に対応するために日頃から協力体制強化の取り組みが必要と痛感しました。</p> <p>路地を子どもたちの遊ぶスペースにできたらいいですね。今子どもたちはわざわざ公園に出かけなければなりません。公園も規制があって子どもたちのものではありません。</p> <p>公園には複数の保育園が集まるので、保育士は見守りに気を使わざる得なくなり、子どもたちの十分に遊べない状況が続いています。</p> <p>コロナ禍はいつまで続くかわかりませんが保育園では人手不足の中、長時間保育を支えています。</p> <p>数が増えた保育園の保育の質や職員の処遇改善待ったなしです。</p>
93		<p>30年以上東京23区の下町で暮らしてきて、2000年に杉並区に引っ越してきましたが、何が違うかというと圧倒的に「緑」が多いことです。これは貴重です。</p> <p>1) 「方針・骨子案」では「道路の拡幅、再開発でビルが立ち並ぶ街づくり」がメインのようですが、これでは「緑」が決定的に失われてしまいます。高井戸地区の玉川上水・放射第5号線がそれを雄弁に物語っています。</p> <p>2) 「方針・骨子案」は10年先の街づくりだと謳っていますが、意見募集の期間が短すぎます。これではじっくり案を読み考える時間がありません。</p> <p>3) 一番肝心なのは、住民・市民と十分に話し合い、これをベースに「方針・骨子案」を修正しより良いものにしていくことです。</p>
94		<p>高井戸のオンランプの開設は、付近の住民の意見をよく聞いて、業者への支援以上に住民の支援を厚くすべき。</p> <p>東京都の都市計画道路は、どれも戦後から見直されておらず現在はほとんど意味を持たないので、東京都に気を使う必要はなく、東京都を利用して区民</p>

	<p>の生活を激変させる事業は中止すべき。</p> <p>中央線の武蔵小金井とか全く面白くない街になったので、その轍は踏まない事。西荻窪、高円寺、阿佐ヶ谷、どこも今面白い街なのでそれを活かす方が良い。</p> <p>再開発と道路計画はいったん白紙に戻し、区民と共に時間をかけて防災などの観点も含めて話し合い、より良い街にしていけば良い。区民からはいろいろなアイデアが出ると思います。</p> <p>それに少子化でタワマンなど建てても売れませんか、町が衰退しかねない。それより街の賑わいを維持した方が税収も増えますよ。</p>
95	<p>中央道高井戸インターチェンジのオンランプの設置検討や、都市計画道路132号線の整備促進などの、自動車交通量の増大を招く道路施策は、総合方針中の「環境との共生まちづくり」に明らかに矛盾していると考えます。</p> <p>駅前の交通密集地帯における、不必要な自動車利用の制限を行い、歩行者や自転車による回遊性を高めた魅力あるまちづくりと、環境に配慮した緑豊かなまちの維持保全を期待します。</p>
96	<p>ご提案の区の骨子案について特に問題ありません。しかしながら抽象的な説明になっているため、個人的には十分理解できてないかと思っております。</p> <p>そのため、あくまで私見ですが将来の杉並区を発展させるために以下のような取り組みもご考慮いただければありがたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の歩道走行時の危険防止のための歩道の拡幅（特に駅への主要通路となっている箇所）</li> <li>・景観向上のため、ネットによるマンションの鳩対策を回避するための鳩等野鳥への餌やりの禁止条例の策定</li> <li>・同上の趣旨で大量の鳩の巣になっている梅里地区の都営アパートの活用検討</li> <li>・防犯上及び毎日の落葉掃除の方々の負担軽減のためにも蚕糸公園の樹々の間伐実施&gt;明るくなり落ち葉の減少及び鳩等の住処の削減ができる</li> <li>・素敵な街並みを構築するための自宅前グリーン化の推進・啓蒙</li> <li>・お年寄りと子供たちが交流できる、盆踊りや小規模な祭りにも活用できる新しい公園の建設、未使用または小規模公園の整理</li> <li>・子供の心と体を育成するためのイギリスのアスレチック型公園の建設&gt;梅里公園の再整備</li> <li>・子供や学生が雨天でも学べる*屋内型の美術館・博物館・歴史館兼用の建物の検討、女子美大による協力のお願ひ&gt;セッション杉並の改築</li> </ul> <p>（*学べるとは・・・観るだけでなく、体験できる、絵を描ける、運動できるという意味）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑道公園のような素敵な歩道の整備拡大&gt;できれば区内の環状化</li> <li>・旧来からの日本の悪文化である KY、コネ、既得権益等の低生産性文化を無くすための若者の投票率を上げる施策の強化・推進</li> </ul> <p>ご提案がローカルになりましたが方向性はどの地域も同様かと思っております。</p> <p>以上</p>
97	<p>高井戸地区住民です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存住宅の耐震化等の防災・備えについて 「フェーズフリー」という概念があります。日常と非日常（災害・病気など）のフェーズで切り分けるのではなく、日常でも非日常でも暮らし良いありかたを目指す考え方です。人口過密で、いざというときは避難所に入りきれない人はどうするのか？ ペットは？ 現実的には在宅避難が求められることになるのでしょうか。既存住宅の耐震補強、高断熱化等、フェーズフリーの観点もふまえてひとりひとりが備えられるようますますの支援があると良いと思います。</li> <li>・農地、土地利用について 近所では、代替わりによって、大きなお屋敷がどんどん細かく、細分化されて小さなお家が増えていっています。一軒のお屋敷だった敷地に、2-3軒の狭小住宅が建ちます。住み続けたくても、相続税が高くて無理なのではないかと思います。「大規模」の規模感が定かには分かりませんが、幅広く住宅敷地を保全できると良いと思います。</li> <li>・みどり豊かなみやこのバイオマス発電について 豊かなみどりを維持するためには、多く間伐材や伐採資源が出ます。小さな庭でも多くの雑草や剪定した枝が出ます。今はすべて可燃ごみに出しています。昔は焚火をして焼き芋を作ったりしていましたが、今ではそれも叶いません。区全体で、みどりの保全に伴い発生するバイオマスを利活用した自然エネルギー発電ができればよいのではないかと思います。</li> <li>・農、食の安全について ぜひ、より積極的な農、地産地消の推進をしていただけたら嬉しく思います。オオゼキなどのスーパーマーケットで、杉並区産の野菜売り場ができないのでしょうか。輸送コストも少なく済みます。ゲノム編集トマトの小学校への無償配布などのニュースを見ても、子どもたちの食物は大丈夫だろ</li> </ul>

		うかと不安になります。有機農法の杉並野菜というブランド化を目指してもよいのではないかと。規模化しないと成立しないようなモデルではなく、少しでも地域で巡って、豊かな暮らしを実現してくれる独自のモデルができると素晴らしいと思います。
98		杉並区は各路線に毎、またその路線の各駅毎に個性的な特色を持っている。その個性は小さな地元事業者、個人、区外からの来街者が形成していると考えられる。それらの方々の意見を広い視点で見ながら集約する必要があると思う。特に区外から来街者は貴重で区内だけの意見では汲み取れない魅力を知っていると思います。是非、来街者、区外からの方々の意見を聞く仕組みを導入して欲しいと思いました。
99		<p>&lt;&lt;この意見募集のあり方&gt;&gt;</p> <p>1) 膨大で専門知識が必要な内容を、2週間で解説し、意見書を書くのには無理があります。区長の説明ビデオは良かったですが、内容は難しく複雑、そして全方針案をカバーしていません。区民に意見を求めるのであれば、区民にきちんと内容を説明するべきだと思います。</p> <p>2) 『杉並区まちづくり基本方針（骨子案）』にページ数が振っていません。</p> <p>&lt;&lt;方針の根拠が読み取りにくい&gt;&gt;</p> <p>『杉並区まちづくり基本方針（骨子案）』には、今後の区の方針については提案されています。しかし、区が直面している様々な問題、そして今後の社会の姿（例えば、人口や経済基盤の変動、家族や仕事の移り変わり、自然環境の劣化や気候変動による水害の悪化、など）については軽くしか触れてなく、具体的な数字も欠けています。そのため、方針の根拠が読み取れなく、方針が適当であるかを判断することが出来ないため、評価することが難しいです。この方針案も「意見」としてしか捉えられないです。</p> <p>&lt;&lt;区、区民及び事業者と協働によるまちづくり&gt;&gt;</p> <p>『杉並区まちづくり基本方針（骨子案）』の「2 まちづくり基本方針の性格」と「4 基本姿勢」に「区、区民及び事業者の協働によるまちづくり」という項目が記載されています。とても良い方針で賛同しますが、「協働」する必要性と具体的な形が読み取りにくいです。例えば、「土地利用・市街地整備方針」の「2 地域の魅力あふれる多心型まちづくりの推進」の「エリアマネジメントによるまちの活性化」は、「積極的に支援」するのみであり、「多様な地域の関係者との意見交換や情報共有を行う場の設置」を義務として行うことは書いていません。さらに、「意見交換」や「情報共有」は曖昧</p>

で、今までの区の方法ですと充分ではない印象です。これは駅周辺の活性化だけでなく、道路整備、ユニバーサルデザイン、防災、そして自然環境に関しても、区にもう少し頑張っ欲しいです！具体的な方法（市民参加のワークショップ、協議会の立ち上げ、市民工事や協働管理制度）と決議権や参加条件なども含める計画する過程での位置付けを示すことを望みます。また、まちづくりはハードを作った後の体制も重要で、計画段階から区民や事業者を巻き込むことにより、より良いまちを作っていけると思います。財政が厳しい今こそ、作った後に使えないハードほど無駄なことはありません。事業予算の大部分を「地域と協働」の取り組みに充てることを方針として記載して欲しいです。

<<「将来のまちの骨格」について>>

1) 「将来のまちの骨格」の「②みどりの拠点とみどりと水のネットワーク」には、憩いの場や災害時の避難所の活用とする目的が示されています。水辺空間をつなぐ理由は、空間形成を「シンボリック」と形容しています。しかし、このネットワークは自然環境の骨格でもあり、単に「シンボリック」な機能だけではなく、直接防災や減災に貢献することが期待されます。流域治水（流域全体で治水を行う）の考えを踏まえて見直すと、水と緑ベルトや繋がっている拠点は防災効果を発揮することが見えてきます。また、動植物のネットワークとしても機能するので、地域の生物多様性を基盤とする、災害後の復興を速めるレジリエントな環境づくり、まちづくりに貢献できます。さらに、魅力的な空間づくりにより、区民がこの空間を多く利用し、人と人の繋がりも促すことでしょう。このような相互効果を目的とする「まちの骨格」が望ましいです。自然環境を基盤とした多機能のみどりと水の拠点とネットワークとして位置付けた方が今回のゼロカーボン宣言にふさわしいと思います。

2) 善福寺川沿いに緑の2拠点を追加をお願いします。

A) <井荻公園周辺> この周辺では、区立井荻公園と区立坂の上げやき公園が崖の上であり、麓には善福寺川に湧水が湧いています。武蔵野市、三鷹市からの合流式下水道が流れ込み場所でもあり、下水の悪臭や氾濫の心配も無視できません。長期対策としてこの周辺を拠点として考えることにより、川の湧水の確保にもつながると思います。地域のシンボルである櫨、井荻公園の木製遊具、そして綺麗な湧水はセットとして「水とみどりの拠点」にふさわしいと思います。

B) <荻外荘一緑地公園上流周辺> この周辺とは、春日橋～神通橋～尾崎橋の間の部分を指しています。都立緑地公園の大きな公共空間を含め、多

数の区立公園や公共施設があります。また、歴史的にはこの周辺は低地で、その高台には屋敷があり、立派な屋敷林がありました。大田黒公園はその典型です。荻外荘は、昔は池がついている日本庭園があり、杉並区立荻窪第二児童遊園付近から取水されていた水路と繋がっていました。その水路は、現在シャレールのUR団地が立っている低地をくぐり抜け、現在の緑地公園の仲よし広場に流れ込んでいました。現在その低地の部分には、荻窪児童館や区立松浜橋公園、区立大谷戸さくら公園、区立大谷戸けやき公園、大谷戸かえで緑地、区立西田第二児童遊園、区立天神橋公園、そして緑地公園の飛地であるかりん公園があります。神通橋から尾崎橋の近辺にも、区立成田西いこい緑地、区立成田西切通し緑地、区立成田西四丁目緑地、区立遊び場24番、などがあります。さらに、この低地を囲むよう区立角川庭園、区立大田黒公園、区立成田西ふれあい農業公園、ゆう杉並、杉並税務署、そして多数の幼稚園、保育園、子ども園、小中学校がにあります。この地域の公園は災害時の避難所拠点としても重要で、町内会や学校PTAなどは避難訓練もよく行われています。桜の名所でもあり、いつも賑わっていますし、貴重な斜面林なども残っています。杉並区のほぼ中心であり、杉並区の名残を残すという意味でもこの地域を一つの拠点とすることを願います。

(補足ですが、大田黒公園周辺地区は景観形成モデル地区と位置付けられていますが、地形的に治水には重要な地区です。大雨の時には、この辺りの道路は川に移り変わります。景観だけでなく、治水のためにも役に立つ地区として計画をお願いします。)

#### <<分野横断な脱炭素のまちづくりについて>>

「1 分野横断的な脱炭素のまちづくり」と提案されていますが、その横断的な仕組みが見えにくいです。横断的な取り組みを阻止する要素に対応するために具体的な案が欲しいです。例えば、下記のようなことが考えられます。

- ー 組織の中で、各部より権限が上になる新たな部局
- ー 区長室、副区長室の管轄に置く新たなタスクフォース
- ー 各部署の職員が協働しやすくするためのプログラム（海外でよくある職員交換制度やシェアリング制度など）

気候危機に関しては、コロナ対策と同様で、急遽に分野横断の動きと体制が必要となります。そのために、「分野横断」という言葉だけではなく、組織を横断するための取り組みについて具体的な方針を求めます。

#### <<「みどり」の曖昧さと自然を活用した解決策のおすすめ>>

まちづくりの目標が「みどり豊かな住まいのみやこ」となっていますが、



この「みどり」は抽象で、何が目的かを明かにすることが必要です。「みどりあふれる良好な環境」の一部は「②みどりの拠点とみどりと水のネットワーク」であると考えられますが、それは自然環境を指していると思います。ただし、自然環境に対して様々な考えがあります。生物多様性を重視するのか、自然の力を活用した減災対策なのか、景観的な取り組みだけなのか、広い緑の空間の確保なのか、など人によって違います。具体性が必要だと思います。

さらに、「グリーンインフラ」は「みどりと水のまちづくり方針」にしか現れなく、他分野にもその方針が反映されていないことが残念です。道路や公園、学校や児童館、区民センターなどの公共施設の全体もグリーンインフラの方針を取る入れることで、より効果が出ると思います。例えば、分野「交通整備方針」に、道路のグリーンインフラ化を図ることにより、景観的な緑化だけでなく、雨水貯留浸透機能の増加が期待され、流域全体の治水に繋がります。「防災・減災・事前復興まちづくり方針」についても、「グリーンインフラ」が出て来ないのは不思議です。国連、国土交通省、そして東京都はEco-DRRやグリーンインフラ、そして流域治水を気候変動対策として進めているのに、この方針案にはグリーンインフラと災害がリンクされていないです。

杉並区は東京都の「城南地区河川外3河川流域治水協議会」の実施メンバーですが、その資料（『ロードマップ』）によると、「流域対策」の項目には雨水貯留浸透機能の向上する対象は公園だけではなく、「道路」や「公共施設」も入っていますし、「地区街づくり計画等における雨水貯留浸透施設整備の促進」も述べられています。雨水対策を「みどりと水のまちづくり方針」だけでなく、幅広くまちづくり計画全体に行き渡っていることにより、流域全体の水害対策になります。

<<防災と共に、潤いを>>

杉並区は神田川、善福寺川、妙正寺川が流れています。しかし、昔からあった小川や水路は暗渠され、もしくは下水道化されてしまいました。水源も枯れてしまいました。気候変動により、豪雨が増えて、川の氾濫だけでなく、内水氾濫も起こっています。私の家の前も、頻繁に道路の排水柵が雨水を処理できなく、水が溢れてしまい、近所では水害が起きています。このようなことが起きる理由は、主に水が流れる場所が限られていて、水が浸透する地面も少なく、浸透能も低下しているからです。

そのために、暗渠された小川や水路を開渠することや、雨庭や植生バイオスウェール（Bioswale）を設置すること、グリーンインフラの項目として取り入れて欲しいです。欧米諸国、中国、そして国内でもこのようなことを

		<p>導入しています。杉並区でもこのような取り組みを進めていくことで、その潤いが「みどり豊かな住まいのみやこ」を実現するのに役に立ち、自然のエアコンで電気利用の削減にもつながり、減災にも貢献することが期待されます。現在の提案されている取り組みの他に、「緑と水のプロムナード」とされている旧桃園川の清流化、開渠化や、善福寺公園の遅野井川親水施設の拡大などが考えられます。</p> <p>&lt;&lt;阿佐ヶ谷地域&gt;&gt;</p> <p>補助 133 号の道路計画が実現されるのであれば、善福寺川と緑地公園と連携して計画を進めていくことをお願いしたいです。現在の計画では、防災機能について理由が書いてあり、歩行者や自転車の配慮は読み取れて、その点に関しては評価します。しかし、防災機能を果たしながら、その地域にとって重要な善福寺川とその周辺の緑を活かすような計画が欲しいですし、治水に貢献するような多機能型の道路づくりをお願いします。</p> <p>また、「防災」はハードが重要ですが、どれだけライフラインが届いても、人の繋がりやお互いの信頼、そして連絡し合っ一緒に作業することが習慣になっていなければ、ライフラインは途切れてしまいます。道路のために地域が切断され、地域の合意形成のプロセスそのものが連結性を解れてしまうことが心配です。私はこの地域に住んでいて、子供は杉二小、東田中に通っていたので知人も多く、この事業に関しての不信に思っている方も多いです。交通量を減らすための工夫や、住民の皆さんが納得する合意形成の方法や方針を、より具体的に表示してください。また、脱炭素に貢献するような道路づくりでないと、計画するべきではないと思います。</p> <p>区役所の前を通る道でもあるので、裏参道になります。川と緑地が隣接している、尾根道なので、絶好の環境です。区役所から善福寺川をつなげる貴重な道路になると思います。世界に誇れるような道路にして欲しいので、区には頑張っ欲しいです。</p> <p>&lt;&lt;歩行者天国で拠点活性化&gt;&gt;</p> <p>最後ですが、歩行者天国の日は時々お祭りなどの地域事業では行っていますが、定期的に歩行者天国になるような道路を使える日を設けてください。ストリートフェスや神社のお祭りなどの時に自動車禁止や、子どもたちが自動車を心配しなく自転車を自由に道を走れるイベントがあると素敵だと思います。</p>
100		